

## 第36回大阪府新型コロナウイルス対策本部会議

日時：令和3年2月1日（月）18時30分～

場所：大阪府新別館南館8階 大研修室

### 次 第

#### 議 題

##### （1）現在の感染状況・療養状況等

- ・現在の感染状況について【資料1-1】
- ・現在の療養状況について【資料1-2】
- ・感染状況と医療提供体制の状況について【資料1-3】
- ・緊急事態措置にかかる取組状況【資料1-4】
- ・滞在人口の推移【資料1-5】

##### （2）新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく緊急事態措置に関する要請について

- ・発生状況及び要請内容に関する専門家の意見【資料2-1】
- ・（参考）新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく緊急事態措置の期間内における解除に関する要請等について【資料2-2】

##### （3）レッドステージ（非常事態）の対応方針に基づく要請等

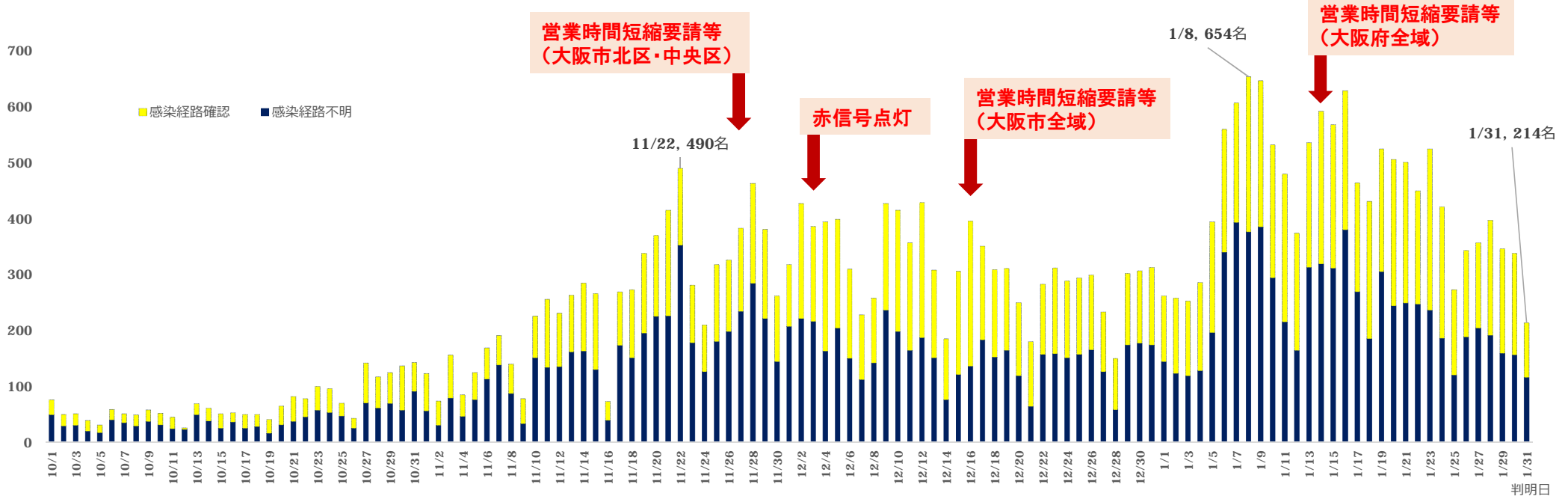
- ・レッドステージ（非常事態）の対応方針に基づく要請【資料3-1】
- ・（参考）レッドステージ（非常事態）の対応方針に基づく要請 新旧対照表【資料3-2】

##### （4）その他

- ・大阪府検疫フォローアップセンターによる水際対策【資料4-1】

# 陽性者数の推移

資料 1 - 1



2/1 178名

10月10日  
3密で唾液が飛び交う環境自粛要請など

10月14日  
Go To Eat Osaka 食事券引換開始

11月1日  
入国制限緩和

11月12日～11月28日  
「静かに飲食」マスクの徹底の要請等

11月20日対策本部会議  
イエローステージ2移行(11月21日)決定

11月21日～12月5日  
5人以上、2時間以上の宴会・飲み会自粛  
高齢者・基礎疾患のある方等の不要不急の  
外出自粛要請等

11月24日  
大阪府を目的地とする旅行のGoToトラハルの適用一時停止

11月27日～12月15日  
大阪府・中央区への施設休業等の要請

11月27日  
大阪府に居住する方のGoToトラハルの利用自粛要請

12月3日対策本部会議  
レッドステージ1移行を決定(赤信号点灯)

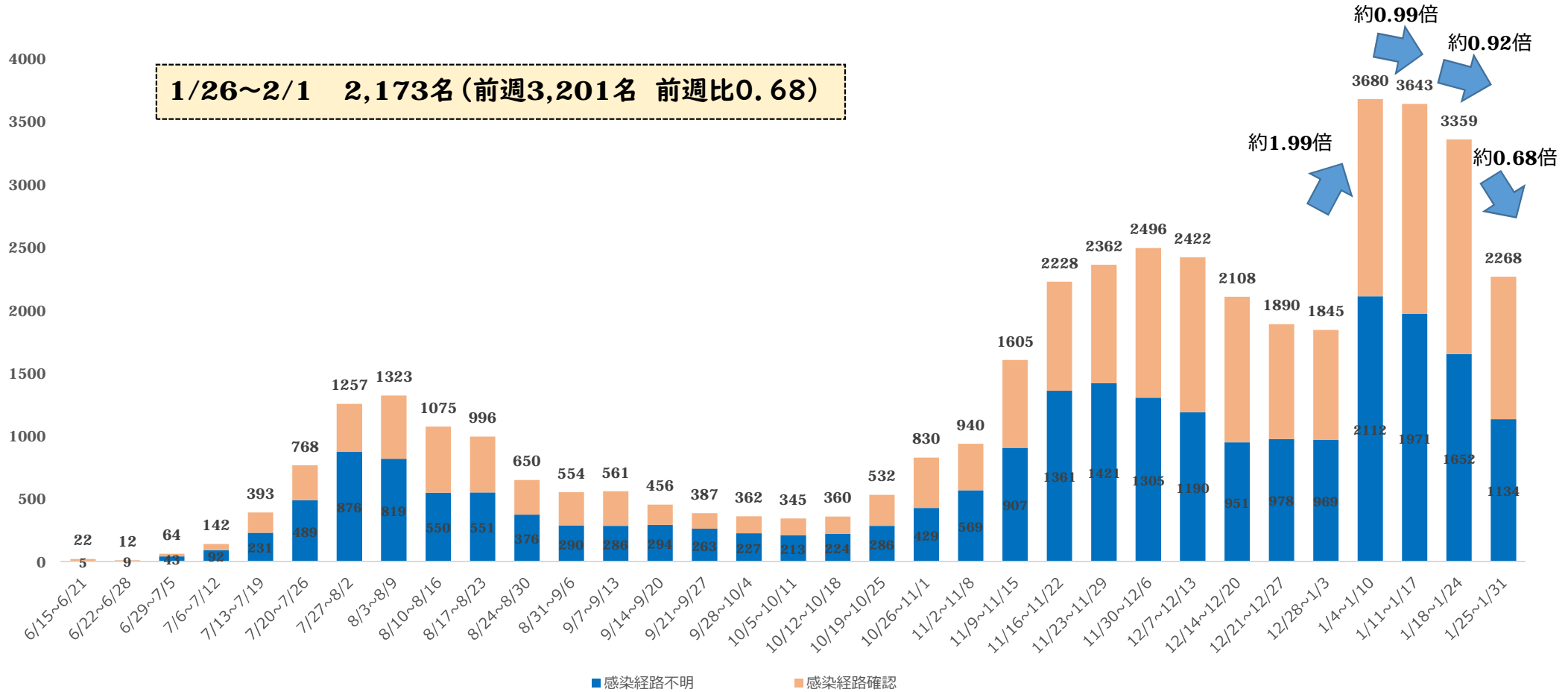
12月16日～1月13日  
府民への不要不急の外出自粛要請  
大阪府全域への施設休業等の要請

12月4日～15日  
府民へのできる限り不要不急の外出自粛要請

1月9日  
緊急事態宣言発出要請

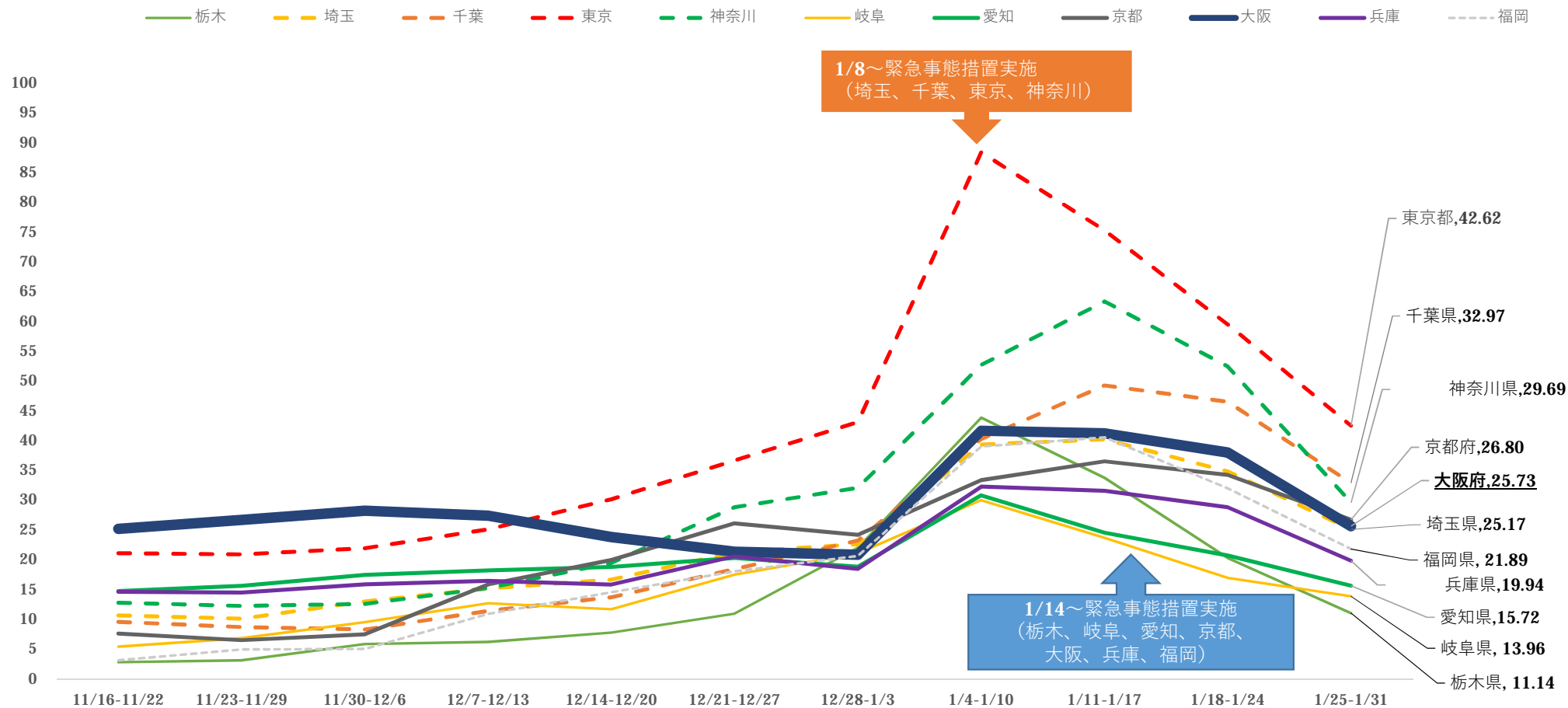
1月14日～2月7日  
緊急事態措置実施期間  
レッドステージ(非常事態)2への移行  
府民への不要不急の外出自粛要請  
大阪府全域の飲食店及び遊興施設の時短要請

# 7日間毎の新規陽性者数



1月14日以降緊急事態措置実施により、新規陽性者数は大きく減少に転じ、直近1週間は前週比0.68倍に減少。ただし、第三波の感染拡大期（11月上旬から中旬）の陽性者数までは減少していない。（一日平均324名）

# 週・人口10万人あたり新規陽性者数

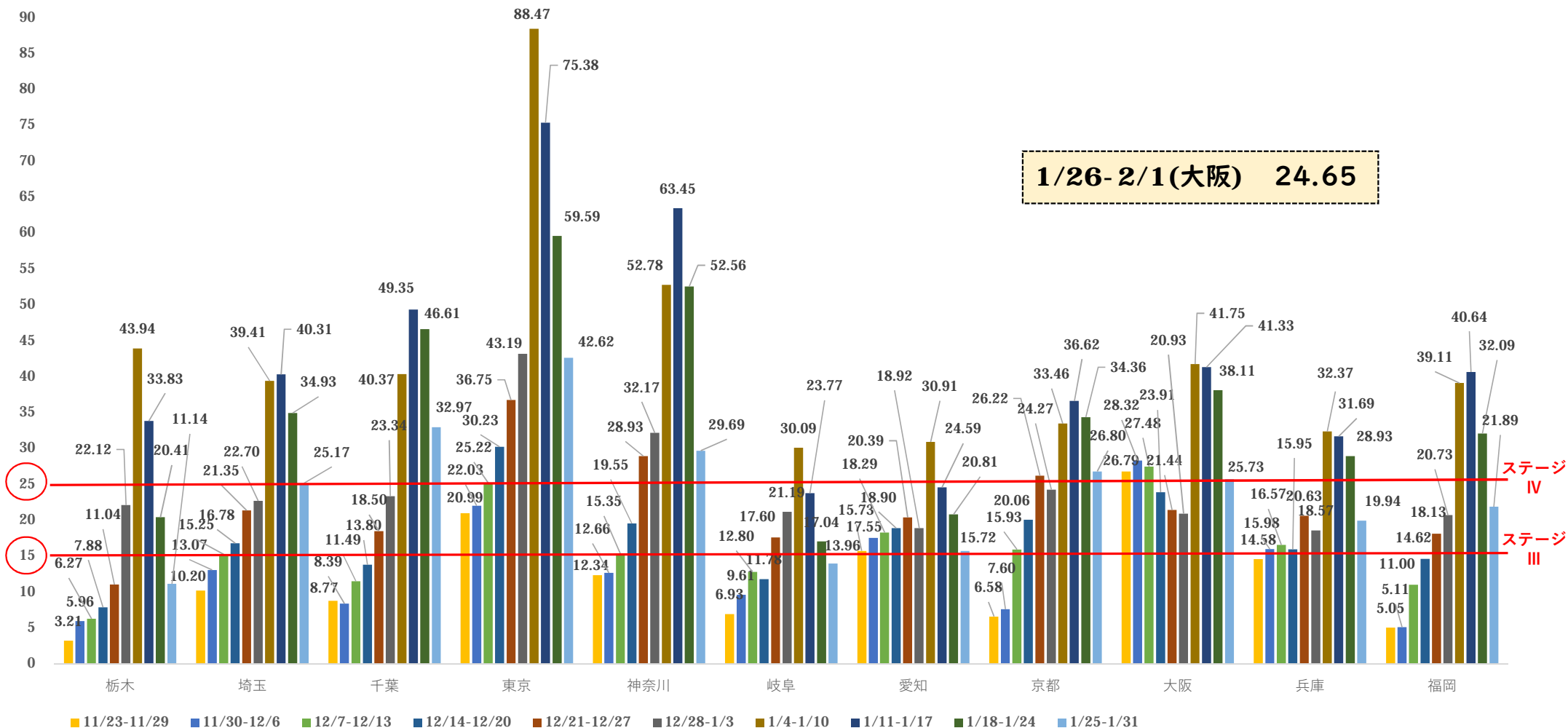


※各都道府県ホームページ公表数値を基に、大阪府の分析による

緊急事態措置実施後、各都道府県で新規陽性者数が減少。  
大阪府も直近1週間(効果が表れるとされる2週間後の週)で大きく減少に転じている。

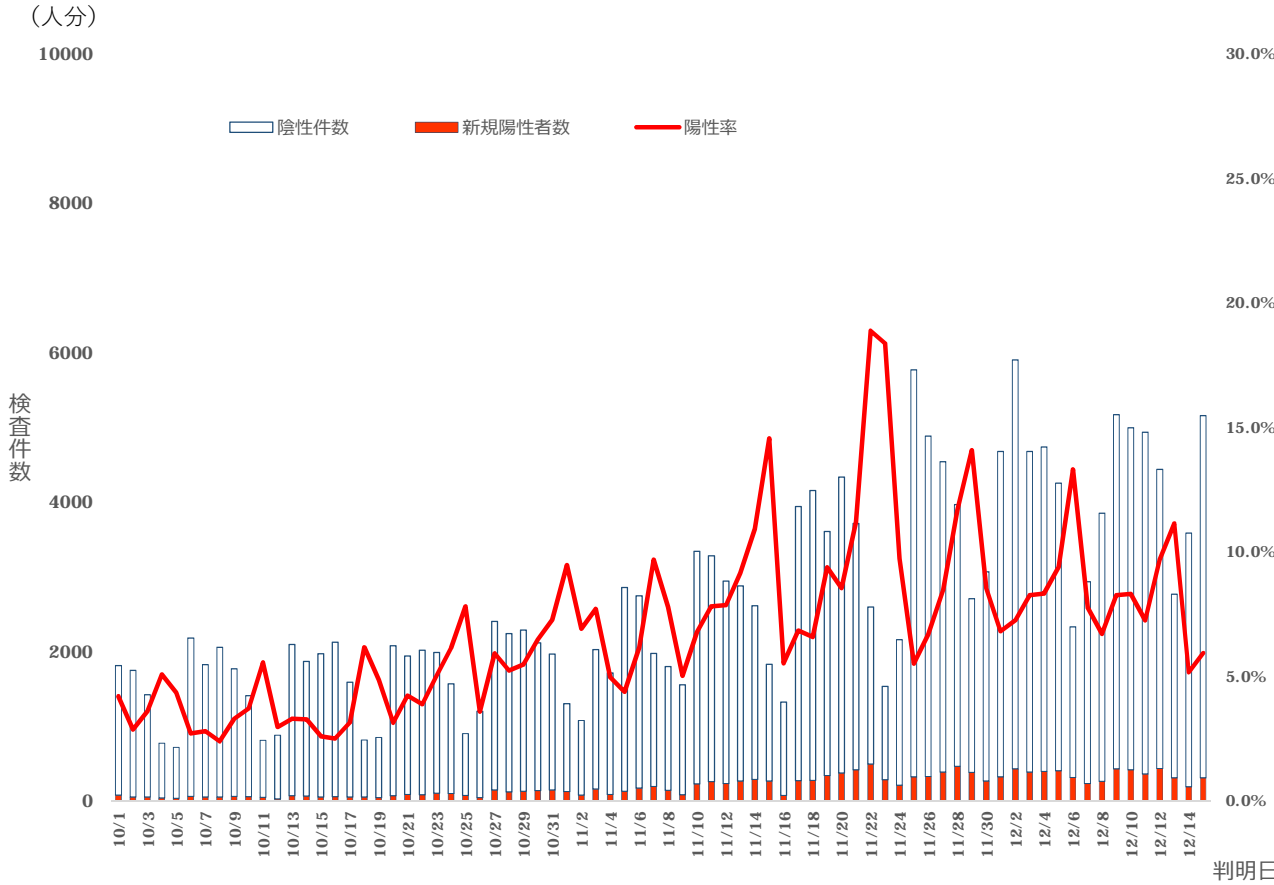
1/26-2/1(大阪)  
24.65

# 週・人口10万人あたり新規陽性者数（都道府県別）

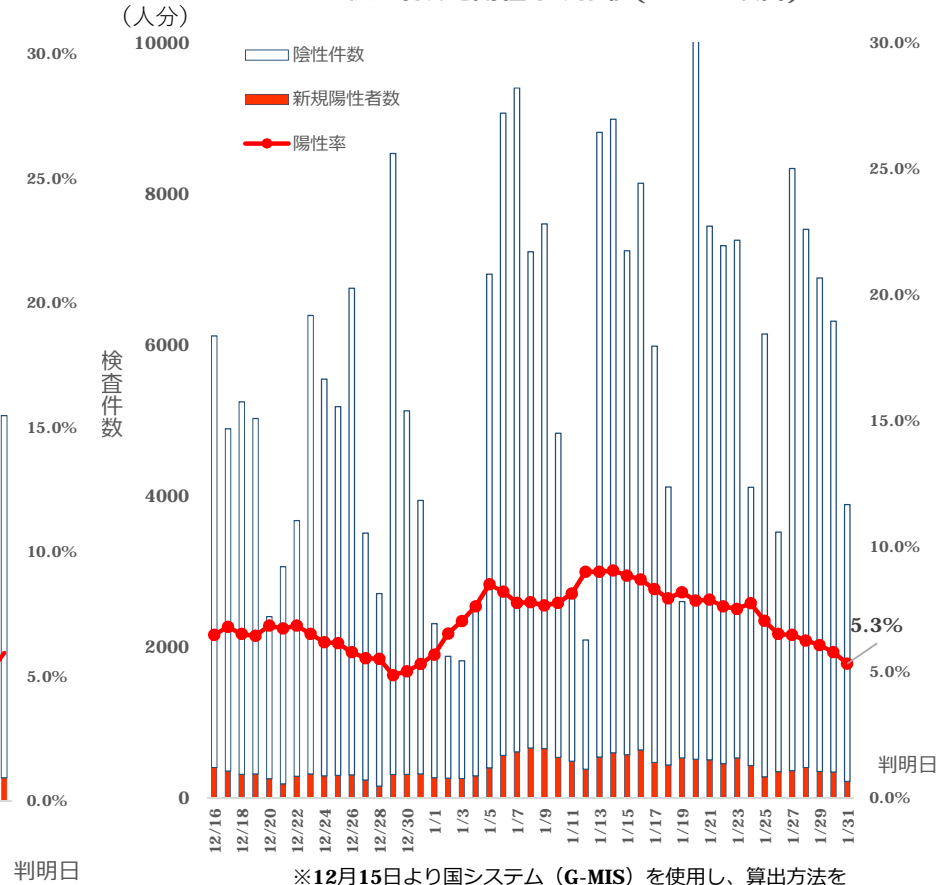


# 検査件数と陽性率

12/15まで



検査件数と陽性率の推移(12/16以降)



※12月15日より国システム (G-MIS) を使用し、算出方法を「1週間の陽性者数 / 1週間の検体採取をした人数」に変更

陽性率は、1月15日以降低下し、1月31日時点で5.3%となっている。

2/1 5.3%

# 「大阪モデル」モニタリング指標の状況

分析事項	モニタリング指標	府民に対する警戒の基準	府民に対する非常事態の基準	府民に対する非常事態解除の基準	府民に対する警戒解除の基準	11/20	11/24	12/3	12/14	12/25	1/8	1/12	1/31	
						29回会議	30回会議	31回会議	32回会議	33回会議	34回会議	35回会議		
(1) 市中での感染拡大状況	①新規陽性者における感染経路不明者7日間移動平均前週増加比	①2以上かつ ②10人以上	—	—	—	1.31	1.63	1.03	0.92	0.98	1.66	2.06	0.69	1/17以降1未満で推移し、減少傾向
	②新規陽性者における感染経路不明者数7日間移動平均		—	—	10人未満	157.57	218.57	226.86	170.43	141.57	243.57	313.29	162.00	1/28に200を下回り、減少傾向
	【参考①】新規陽性者における感染経路不明者の割合	—	—	—	—	62.7%	64.8%	61.1%	43.8%	55.8%	58.4%	45.7%	54.2%	1/17以降、40～50%台で推移
(2) 新規陽性患者の拡大状況	③7日間合計新規陽性者数	120人以上かつ 後半3日間で半数以上	—	—	—	1874	2377	2620	2379	1919	3012	3854	2268	1/12以降、減少傾向
	うち後半3日間		—	—	—	981	981	1131	922	895	1821	1386	898	
	④直近1週間の人口10万人あたり新規陽性者数	—	—	—	0.5人未満	21.24	26.94	29.69	26.96	21.77	34.17	43.72	25.73	1/12以降、減少傾向
	【参考②】陽性率（7日間）	—	—	—	—	8.9%	11.8%	9.3%	8.1%	6.1%	7.8%	9.0%	5.3%	1/15以降、低下傾向にあり、5～6%台で推移
(3) 病床等の逼迫状況	⑤患者受入重症病床使用率(※)	—	70%以上 (「警戒(黄色)」信号が点灯した日から起算して25日以内)	7日間連続 60%未満	60%未満	39.3%	50.0%	66.0%	75.7%	68.6%	71.2%	72.5%	78.4%	1/3以降、70%台で推移
	【参考③】患者受入軽症中等症病床使用率	—	—	—	—	44.7%	55.4%	53.7%	70.5%	64.3%	63.4%	72.9%	65.1%	1/26以降70%を下回り、60%強で推移
	【参考④】患者受入宿泊療養施設部屋数使用率	—	—	—	—	31.2%	46.3%	35.2%	44.9%	31.5%	43.3%	60.7%	32.6%	1/29に40%を下回り、減少傾向

(※)重症確保病床数は、12月15日時点。

## 【大阪府の主な取組状況】

- 11/20 (29回会議) イエローステージ2に移行、「5人以上」「2時間以上」の宴会・飲み会の自粛要請 (11/21～)
- 11/24 (30回会議) 大阪市北区、中央区の飲食店営業時間短縮要請 (11/27～12/11)
- 12/3 (31回会議) レッドステージ1に移行、できる限り不要不急の外出自粛要請 (12/4～15)、飲食店営業時間短縮要請の延長 (～12/15)
- 12/14 (32回会議) 不要不急の外出自粛要請、及び大阪市全域の飲食店営業時間短縮要請 (12/16～29)
- 12/25 (33回会議) 不要不急の外出自粛要請、及び大阪市全域の飲食店営業時間短縮要請の延長 (12/30～1/11)
- 1/8 (34回会議) 不要不急の外出自粛要請、及び大阪市全域の飲食店営業時間短縮要請の延長 (緊急事態宣言発出まで)
- 1/12 (35回会議) レッドステージ2に移行、不要不急の外出自粛要請、及び大阪府全域の飲食店・遊興施設営業時間短縮要請 (1/14～2/7)

# (参考) 新型コロナウイルス感染症対策分科会におけるモニタリング指標の状況

【緊急事態措置解除の考え方】 ※「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針（令和3年1月7日変更）」より  
 国内での感染及び医療提供体制・公衆衛生体制のひっ迫状況（特に、緊急事態措置を実施すべき区域が、分科会提言におけるステージⅢ相当の対策が必要な地域になっているか等）を踏まえて、総合的に判断。

		指標及び目安		1/8 34回会議	1/12 35回会議	1/31	1/31時点の 目安に対する状況	(参考) ステージⅢ 基準到達状況	1/31時点の 目安に対する状況	
ステージⅣ	医療提供体制等の負荷	①病床のひっ迫具合	病床全体	・最大確保病床 (1615床) の占有率 50%以上	63.1%	71.1%	74.6%	●	20%以上	●
				・現時点の確保病床数 (1801床) の占有率	64.6%	72.8%	66.9%	—	25%以上	●
		うち、重症者用病床	・最大確保病床 (215床) の占有率 50%以上	78.1%	79.5%	86.0%	●	20%以上	●	
			・現時点の確保病床数 (236床) の占有率	71.2%	72.5%	78.4%	—	25%以上	●	
	②療養者数	人口10万人あたりの全療養者数25人以上		54.78	66.36	55.89	●	15人以上	●	
	監視体制	③陽性率	10% ※ 1週間の平均		7.8%	9.0%	5.3%	○	ステージⅣと同基準	○
	感染の状況	④新規報告数	25人/10万人/週 以上		34.17	43.72	25.73	●	15人以上	●
		⑤直近一週間と先週一週間の比較	直近一週間が先週一週間より多い	直近一週間	3,012	3,854	2,268	○	ステージⅣと同基準	○
				先週一週間	1,866	2,073	3,359			
	⑥感染経路不明割合	50% ※ 1週間の平均		56.6%	56.9%	50.0%	●	ステージⅣと同基準	●	

※重症者用病床に関する占有率は、大阪府基準により算出。  
 ●：基準外 ○：基準内

**2/1**  
**③陽性率**  
**5.3%**  
**④新規報告数**  
**24.65**

※他の数値は、2/1 19:00 目途に公表予定

**1/31時点で、新規陽性者数・医療提供体制はステージⅣの基準を上回っている。  
 (2/1時点は、新規陽性者数はステージⅣの基準を下回る。)**

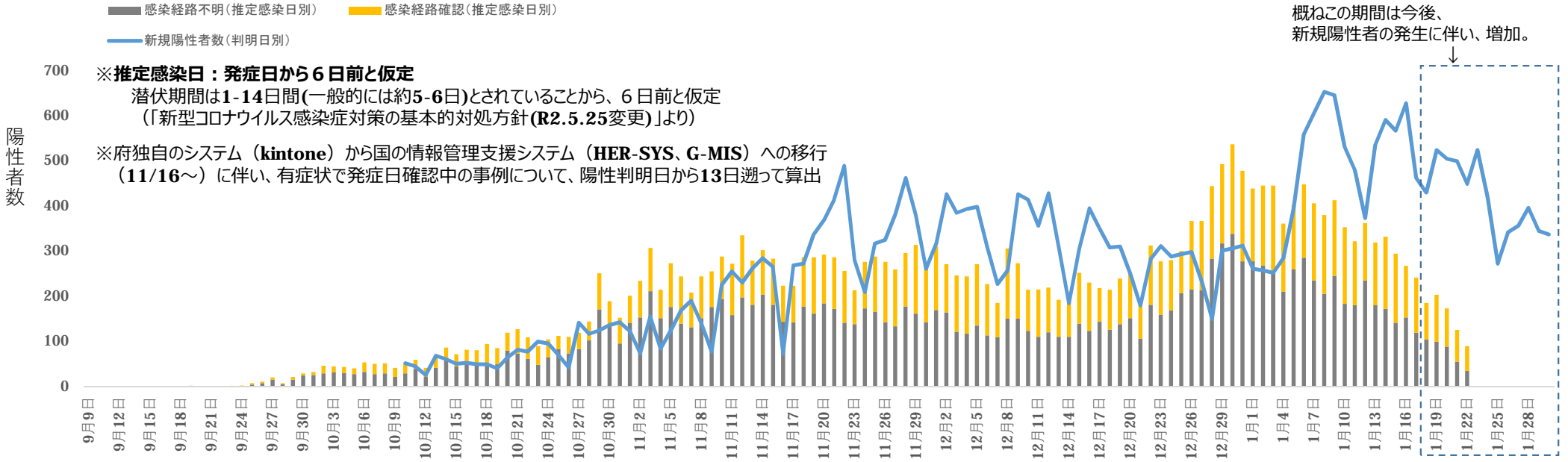
【大阪府の主な取組状況】  
 11/20 (29回会議) イエローステージ2に移行、「5人以上」「2時間以上」の宴会・飲み会の自粛要請 (11/21~)  
 11/24 (30回会議) 大阪府北区、中央区の飲食店営業時間短縮要請 (11/27~12/11)  
 12/3 (31回会議) レッドステージ1に移行、できる限り不要不急の外出自粛要請 (12/4~15)、飲食店営業時間短縮要請の延長 (~12/15)  
 12/14 (32回会議) 不要不急の外出自粛要請、及び大阪府全域の飲食店営業時間短縮要請 (12/16~29)  
 12/25 (33回会議) 不要不急の外出自粛要請、及び大阪府全域の飲食店営業時間短縮要請の延長 (12/30~1/11)  
 1/8 (34回会議) 不要不急の外出自粛要請、及び大阪府全域の飲食店営業時間短縮要請の延長 (緊急事態宣言発出まで)  
 1/12 (35回会議) レッドステージ2に移行、不要不急の外出自粛要請、及び大阪府全域の飲食店・遊興施設営業時間短縮要請 (1/14~2/7)



# 推定感染日別陽性者数（1月30日時点）

（10月10日以降1月30日までの判明日分）（N=26,956名（調査中、不明、無症状5,709名を除く））

感染から発症まで6日、発症から陽性判明まで7日と仮定すると、概ねこの期間は今後、新規陽性者の発生に伴い、増加。



陽性者数

※推定感染日：発症日から6日前と仮定  
 潜伏期間は1-14日間（一般的には約5-6日）とされていることから、6日前と仮定  
 （「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針（R2.5.25変更）」より）

※府独自のシステム（kintone）から国の情報管理支援システム（HER-SYS、G-MIS）への移行  
 （11/16～）に伴い、有症状で発症日確認中の事例について、陽性判明日から13日遡って算出

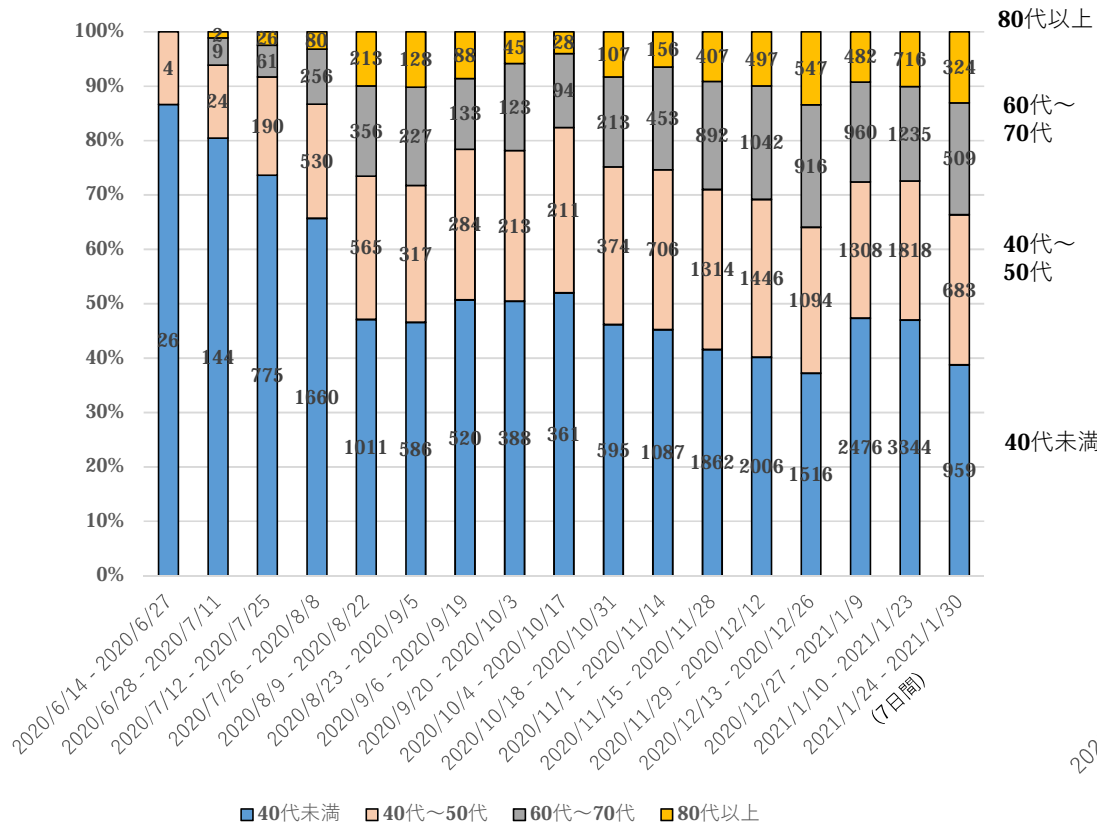
- 10月10日  
3密で唾液が飛び交う環境自粛要請など
- 10月14日  
Go To Eat Osaka 食事券引換開始
- 11月1日  
入国制限緩和
- 11月12日～11月28日  
「静かに飲食」「マスクの徹底」の要請等
- 11月20日  
11月20日対策本部会議  
イエローステージ2移行（11月21日）決定
- 11月21日～12月5日  
5人以上、2時間以上の宴会・飲み会自粛  
高齢者・基礎疾患のある方等の不要不急の  
外出自粛要請等
- 11月24日  
大阪市を目的地とする旅行のGoToトラハルの適用一時停止
- 11月27日～12月15日  
大阪市北区・中央区への施設休業等の要請
- 12月1日  
大阪市に居住する方のGoToトラハルの利用自粛要請
- 12月3日  
レッドステージ1移行を決定（赤信号点灯）
- 12月4日～15日  
府民への出来る限り不要不急の外出自粛要請
- 12月16日～1月13日  
府民への不要不急の外出自粛要請  
大阪府全域への施設休業等の要請
- 1月9日  
緊急事態宣言発出要請
- 1月14日～2月7日  
緊急事態措置実施期間  
レッドステージ（非常事態）2への移行  
府民への不要不急の外出自粛要請  
大阪府全域の飲食店及び遊興施設の時短要請

12月30日をピークに減少。

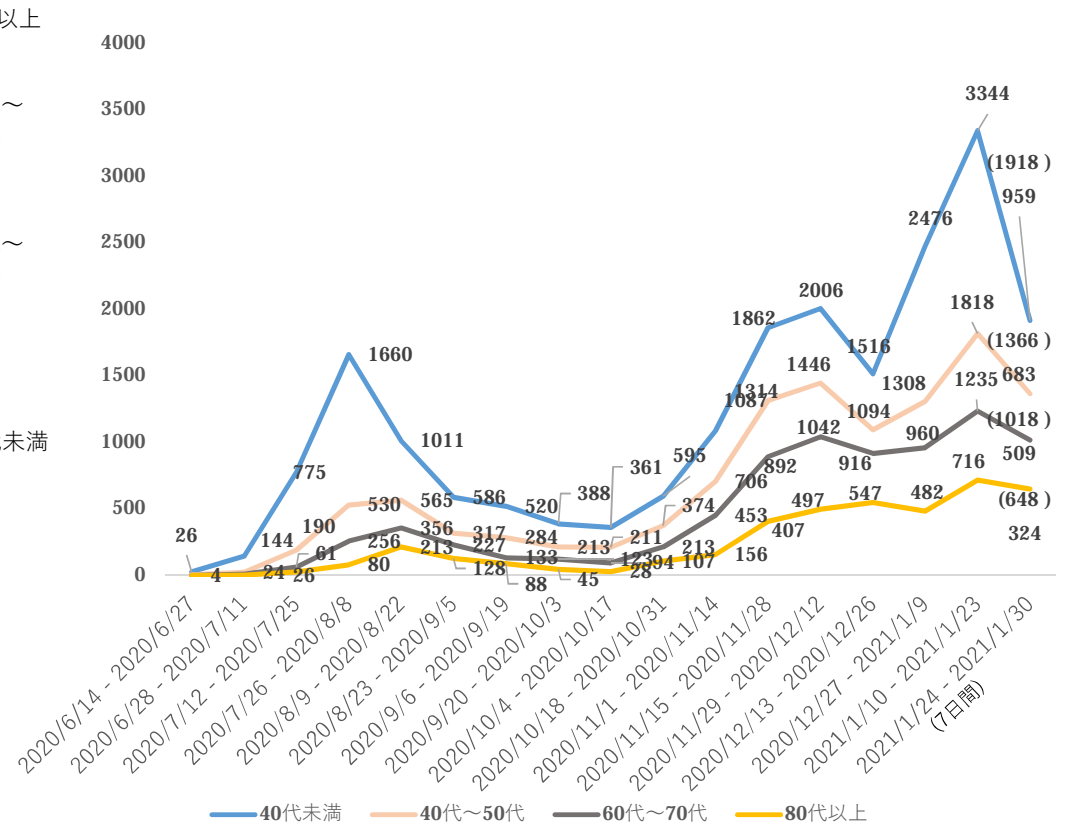
# 陽性者の年齢区分

(6月14日以降1月30日までに判明した41,722事例の状況)

陽性者の年齢区分 (割合, 2週間単位)



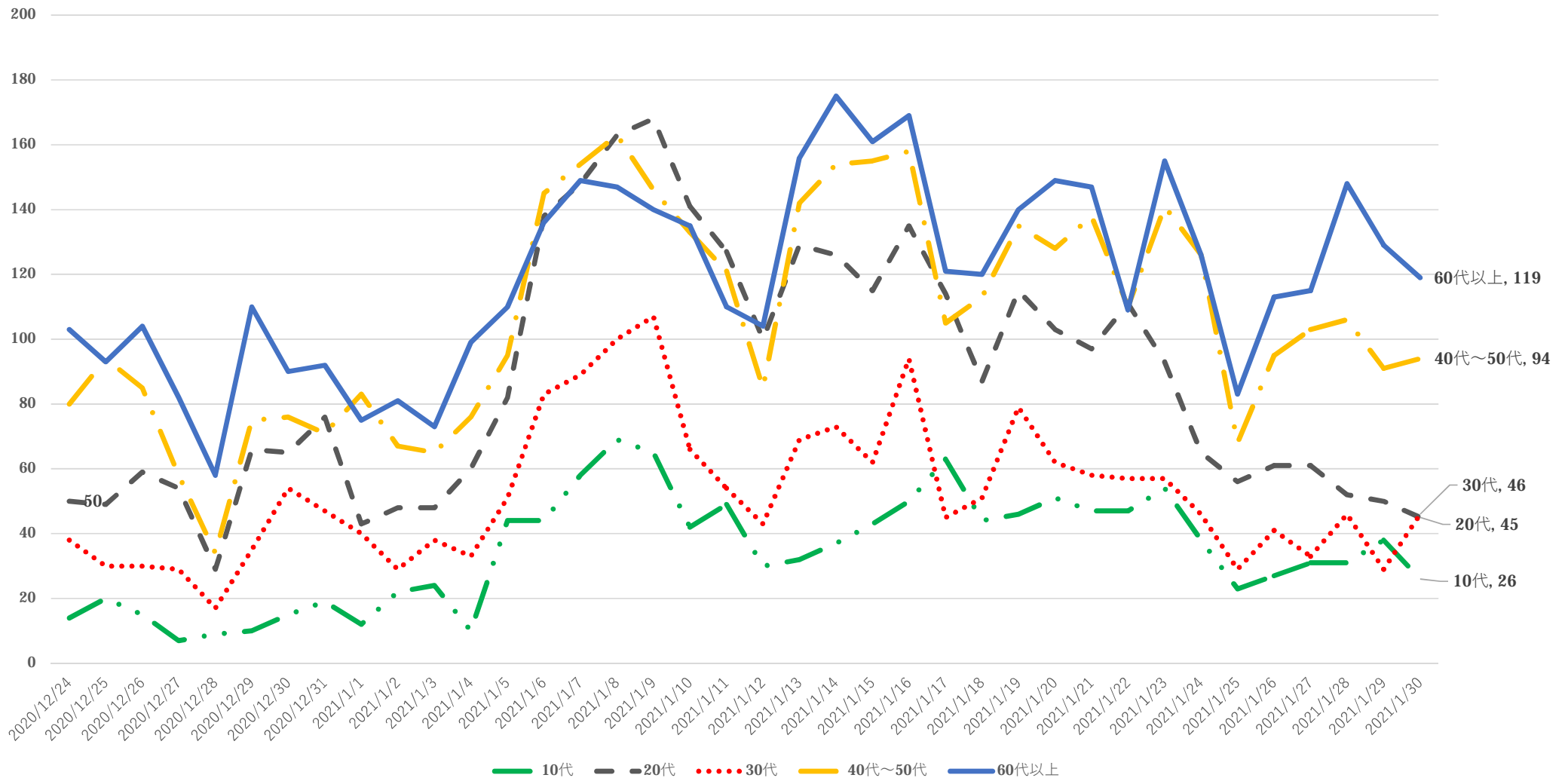
陽性者の年齢区分 (実数, 2週間単位)



直近1週間で40代未満が4割弱に減少。一方、60代以上の割合が増加し、3割を超過。  
(実数は減少)

※カッコ書きは、14日間の推定値  
※グラフは推定値で作成

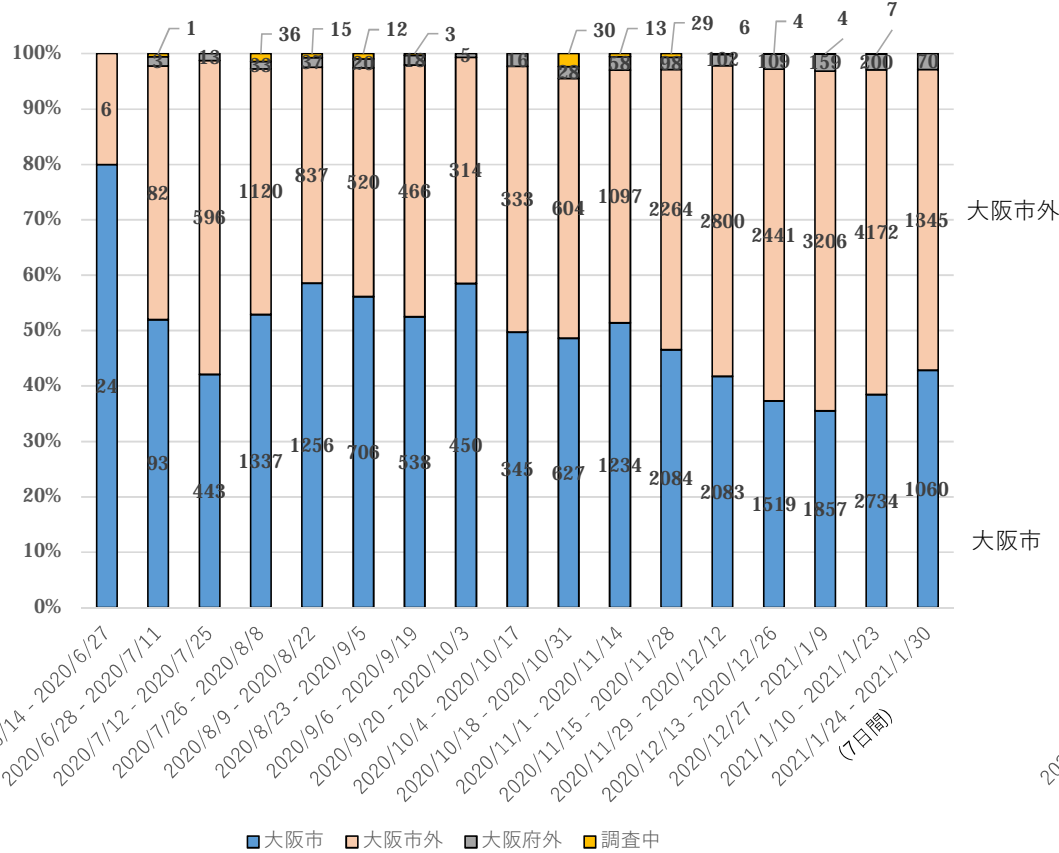
# 陽性者の年齢区分(12月24日以降 日別)



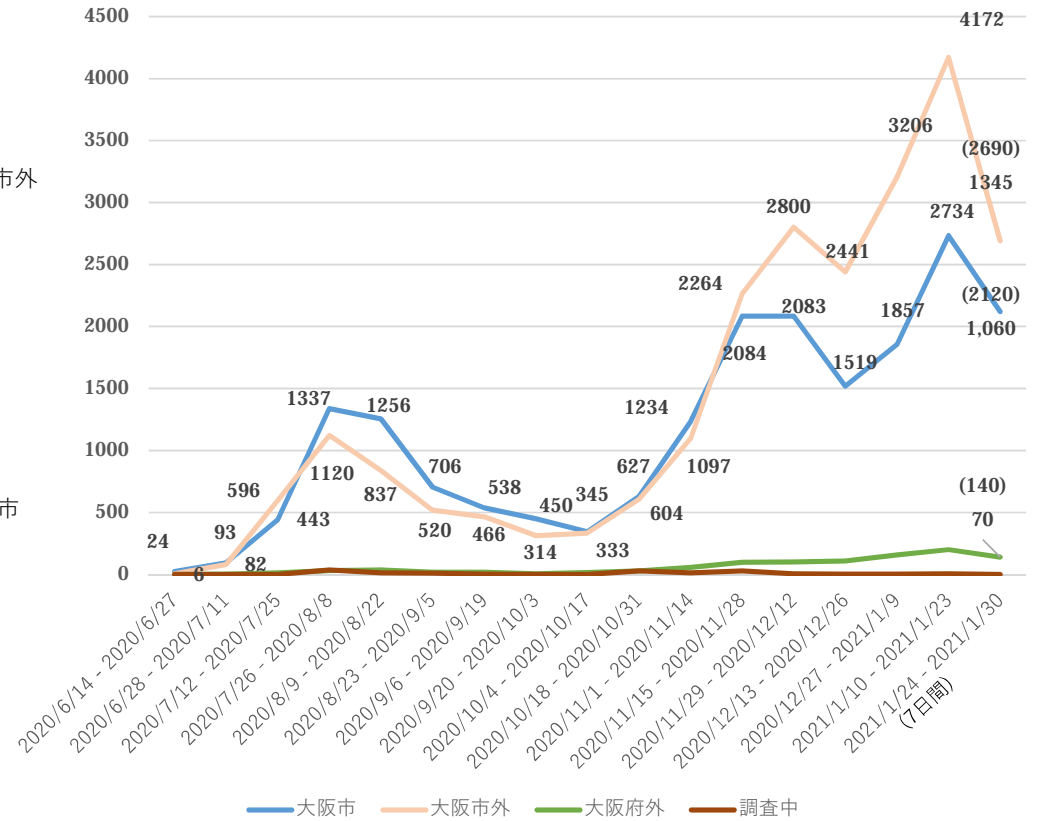
# 陽性者の居住地

(6月14日以降1月30日までに判明した41,722事例の状況)

陽性者の居住地区分 (割合, 2週間単位)



陽性者の居住地区分 (実数, 2週間単位)

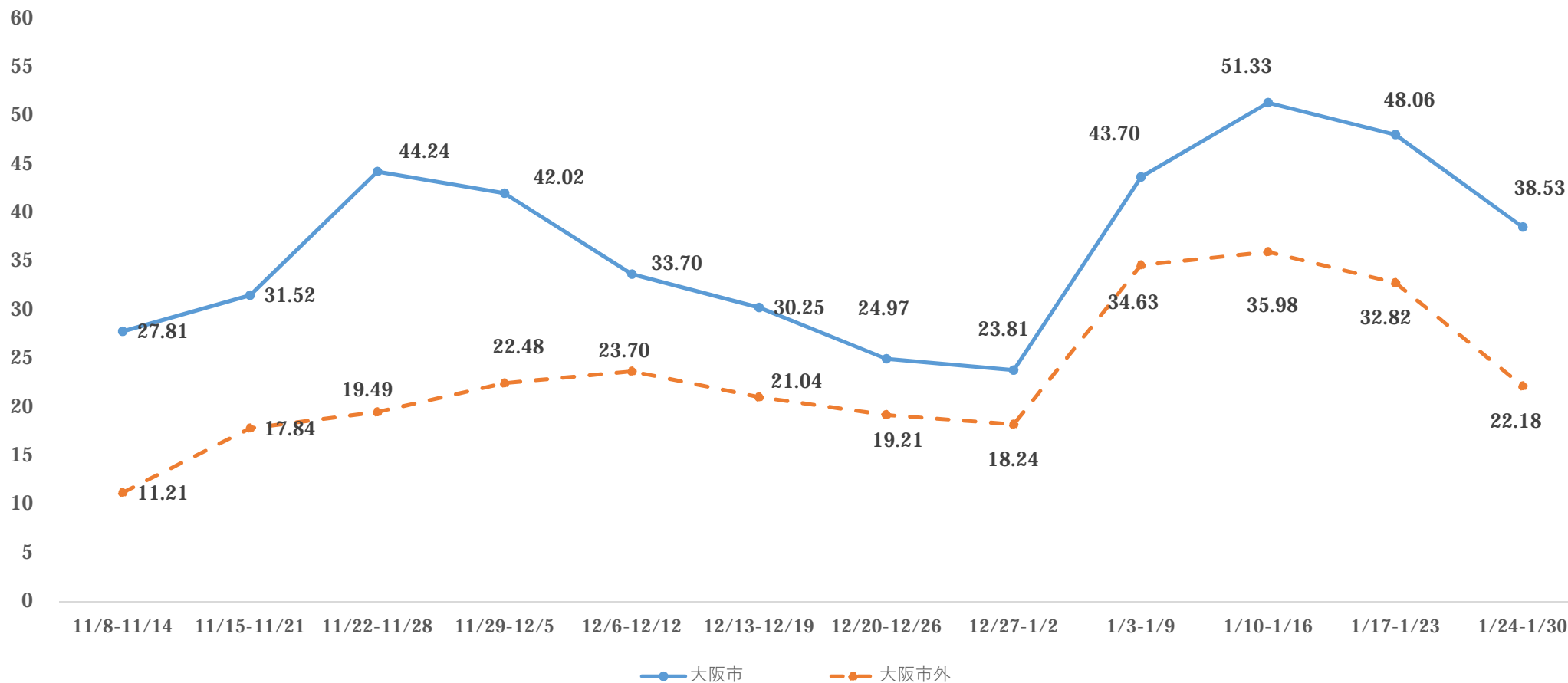


1月10日の週以降、大阪市内居住者の割合が増加(実数は減少)。

※カッコ書きは、14日間の推定値  
※グラフは推定値で作成

# 大阪市・市外の陽性者比較（人口10万人あたり）

※市内外は居住地による  
 ※居住地が非公表、不明、調査中、他都道府県等を除く

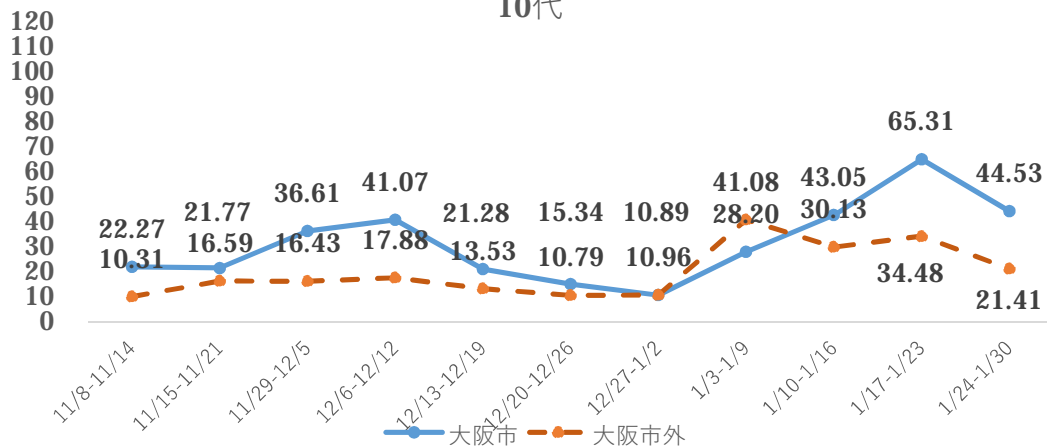


大阪市内・市外いずれも、週・人口10万人あたりの新規陽性者数は直近2週間で減少。

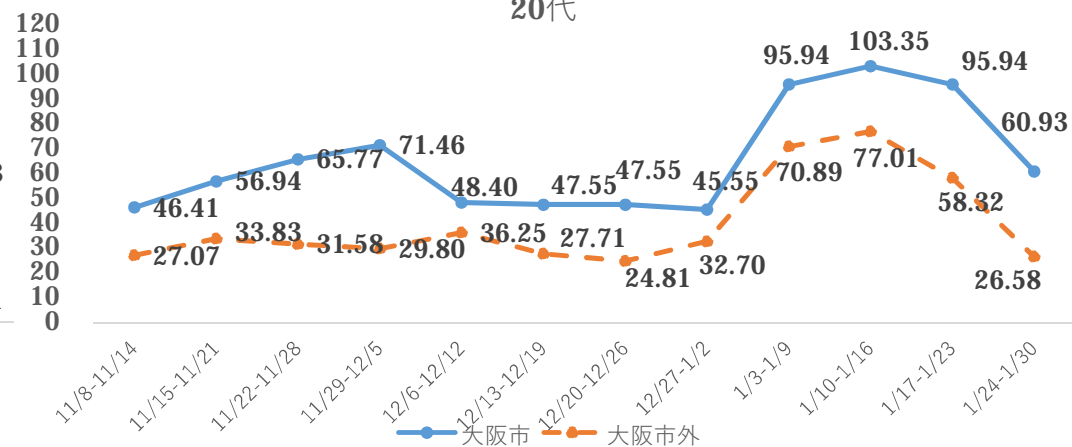
# 大阪市・市外 年代別陽性者比較 (人口10万人あたり)

※市内外は居住地による  
 ※居住地が非公表、不明、調査中、他都道府県等を除く

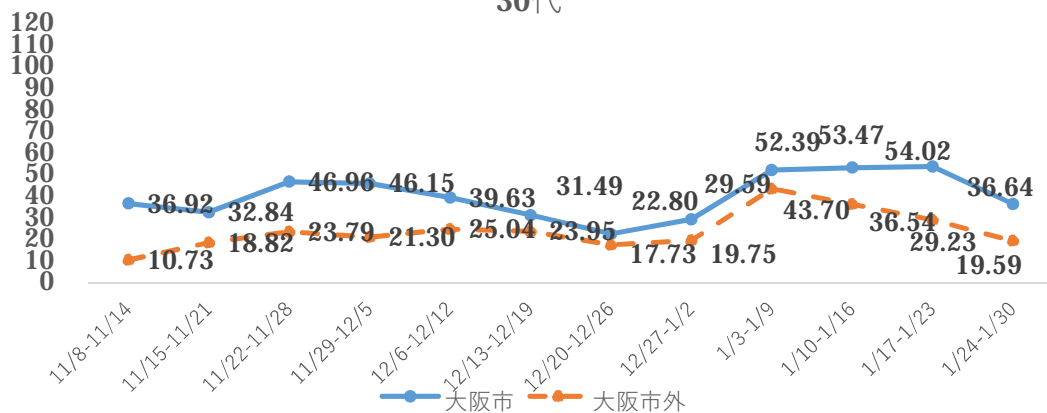
### 10代



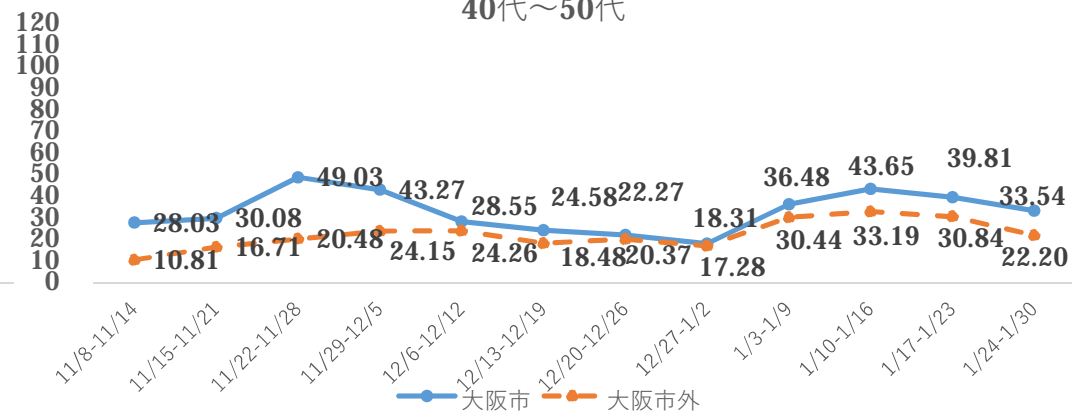
### 20代



### 30代



### 40代～50代

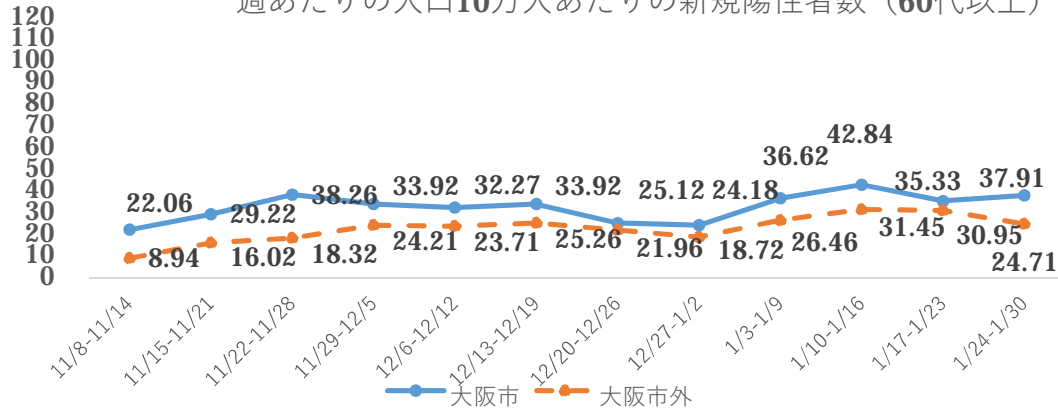


市内・市外にかかわらず、全年代で直近1週間の人口10万人あたりの新規陽性者は減少。

# 大阪市・市外 年代別陽性者比較（人口10万人あたり）

※市内外は居住地による  
※居住地が非公表、不明、調査中、他都道府県等を除く

週あたりの人口10万人あたりの新規陽性者数（60代以上）

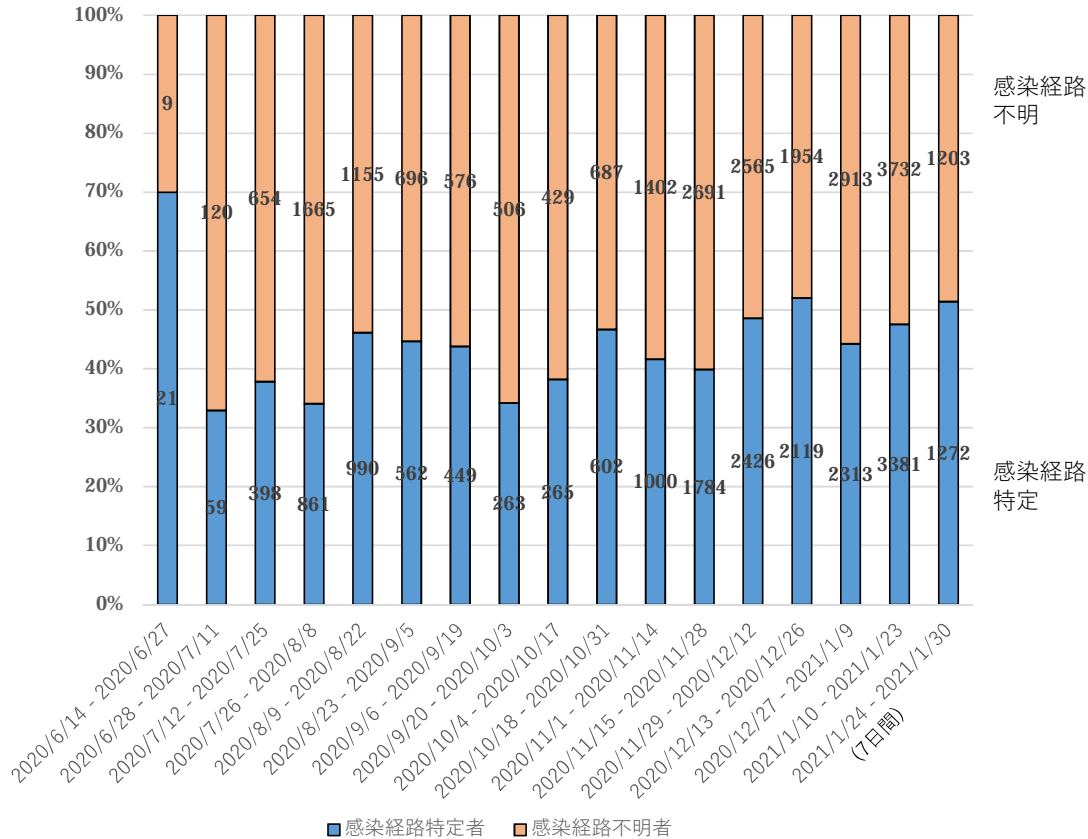


直近1週間で、市外の人口10万人あたりの新規陽性者は減少したが、市内は増加。

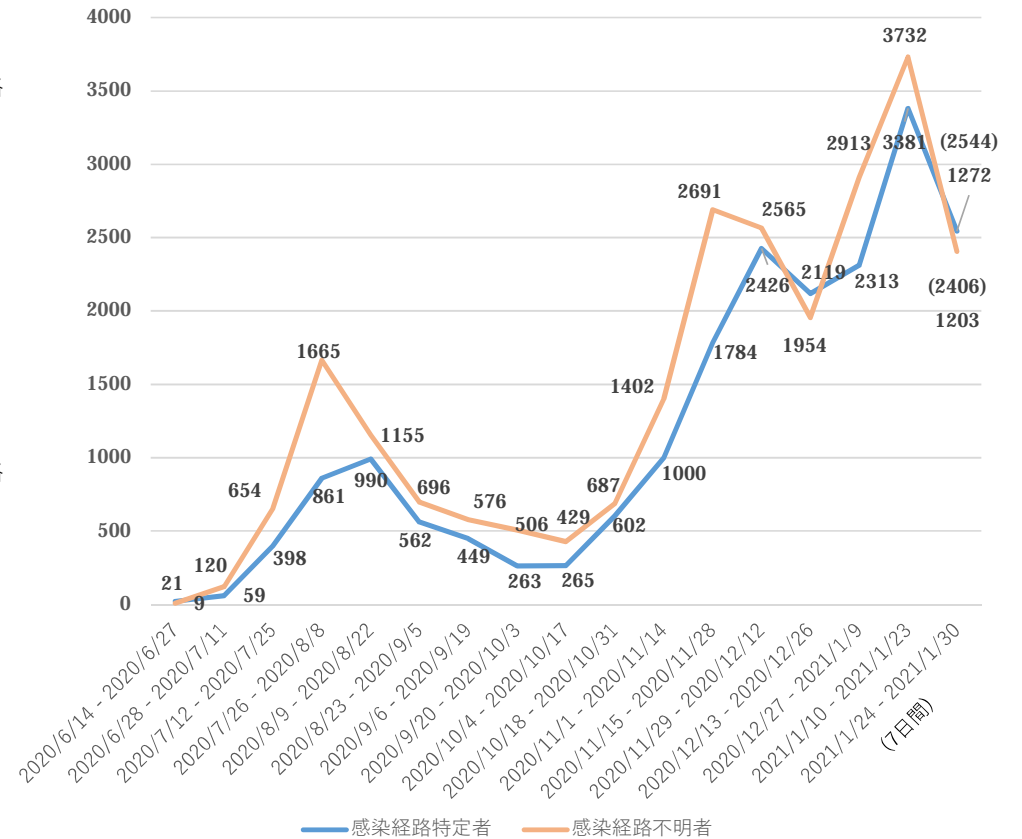
# 陽性者の感染経路の状況

(6月14日以降1月30日までに判明した41,722事例の状況)

感染経路の状況 (割合)



感染経路の状況 (実数)



感染経路不明の割合は、1月10日の週以降減少し、5割弱となっている。

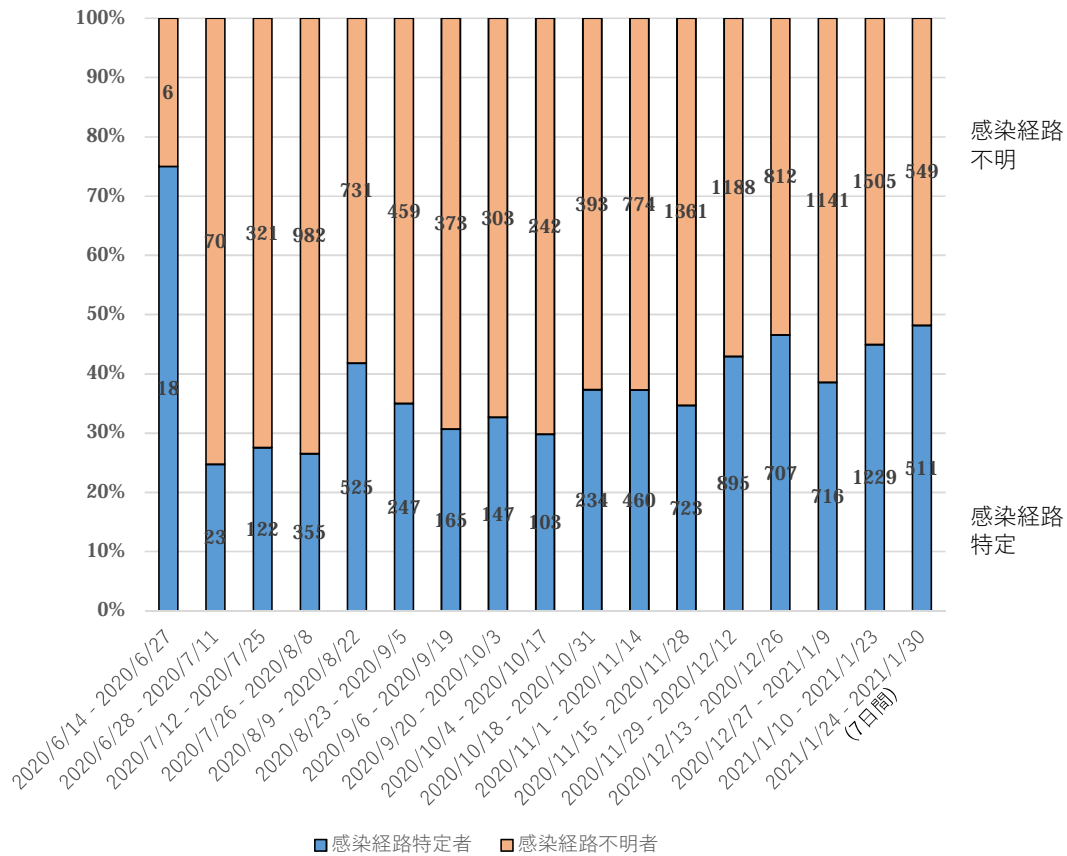
※カッコ書きは、14日間の推定値  
※グラフは推定値で作成



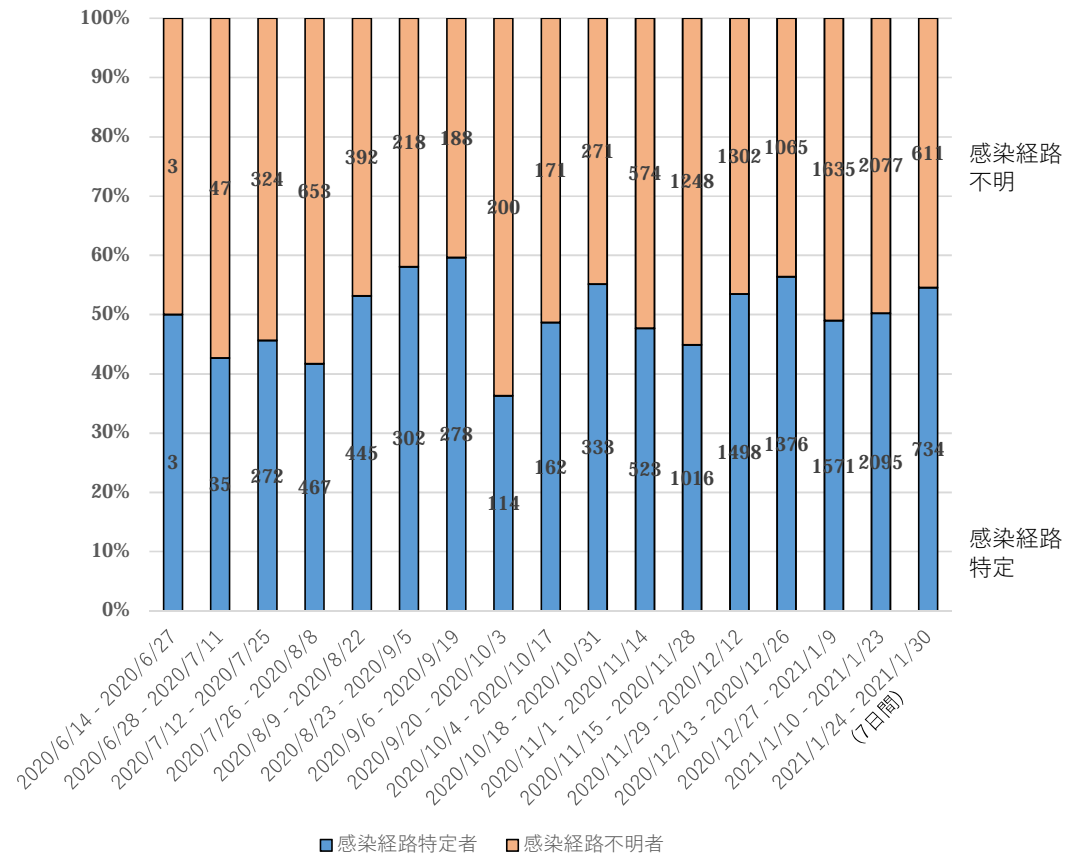
# 陽性者の感染経路の状況（大阪市内外）

※市内外は居住地による  
 ※居住地が非公表、不明、調査中、他都道府県等を除く

感染経路の状況（大阪市内）



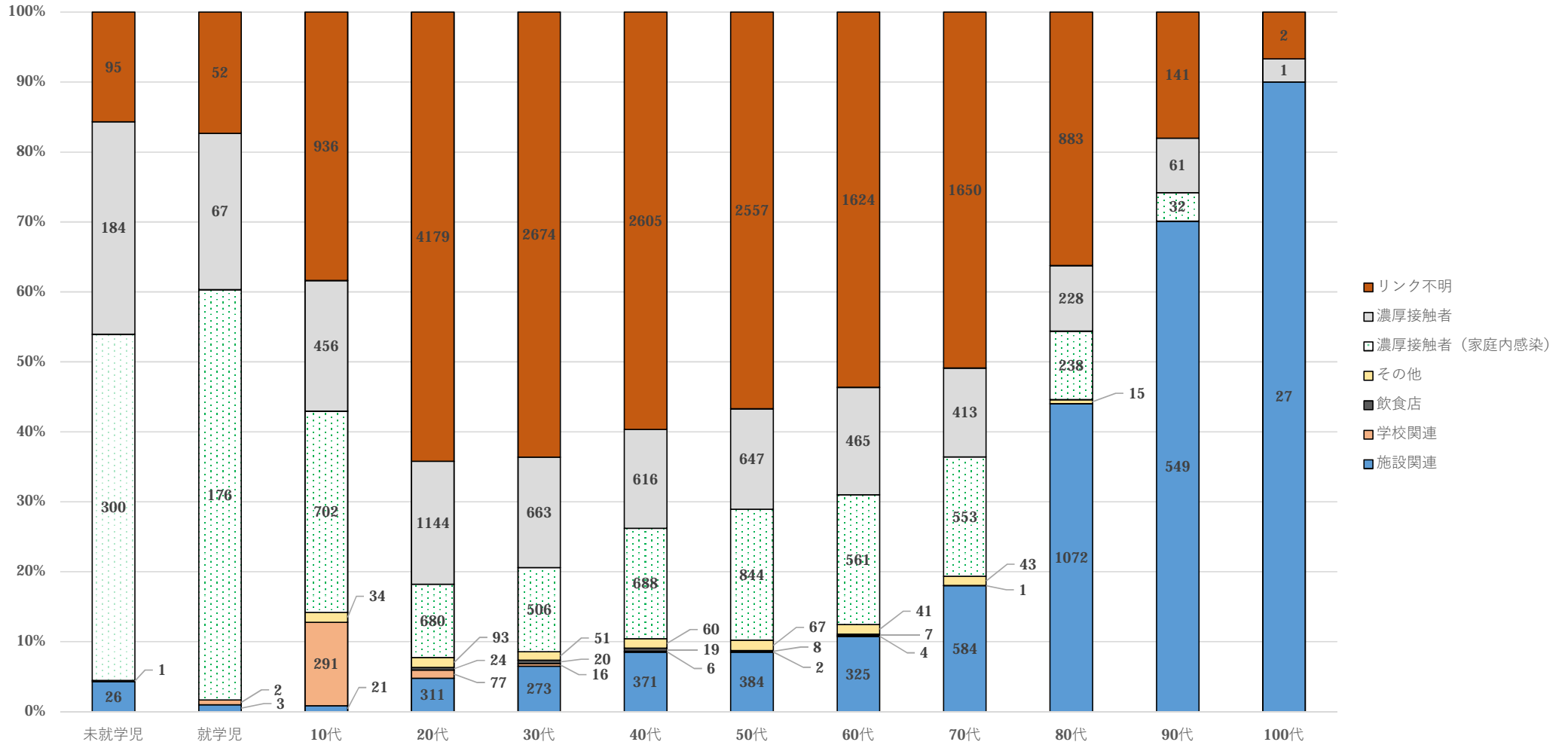
感染経路の状況（大阪市外）



感染経路不明の割合は、大阪市内は1月10日以降、市外は1月24日の週で減少している。

# 年代別感染経路（第三波）

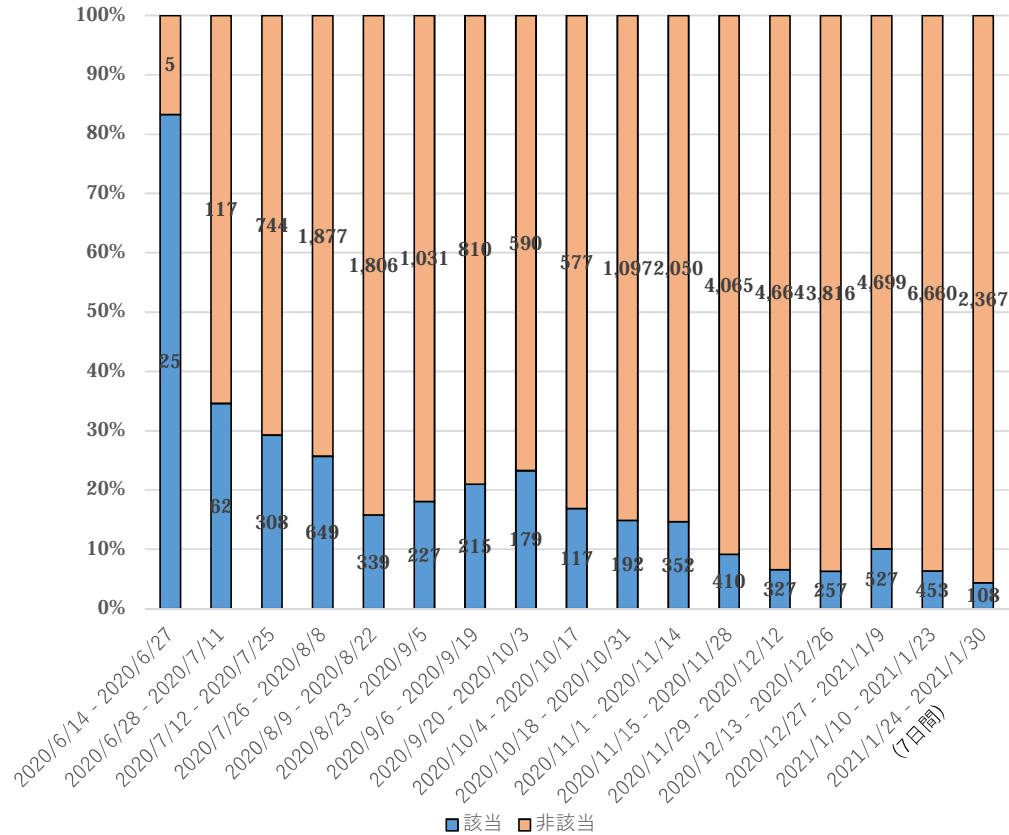
（10月10日以降1月30日までに判明した32,451事例の状況）



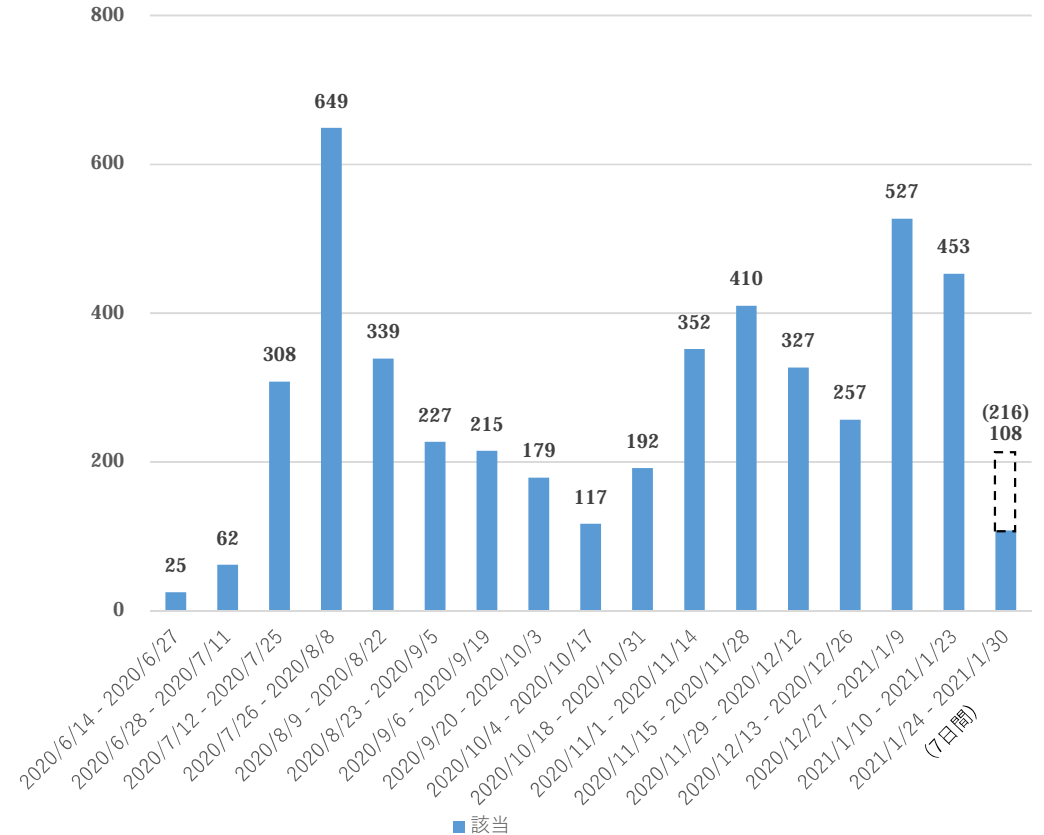
# 夜の街の関係者及び滞在者の状況（陽性者全体における該当者）

（6月14日以降1月30日までに判明した41,772事例の状況）

夜の街の関係者及び滞在者の状況（全件：割合）



夜の街の関係者及び滞在者の状況（全件：実数）



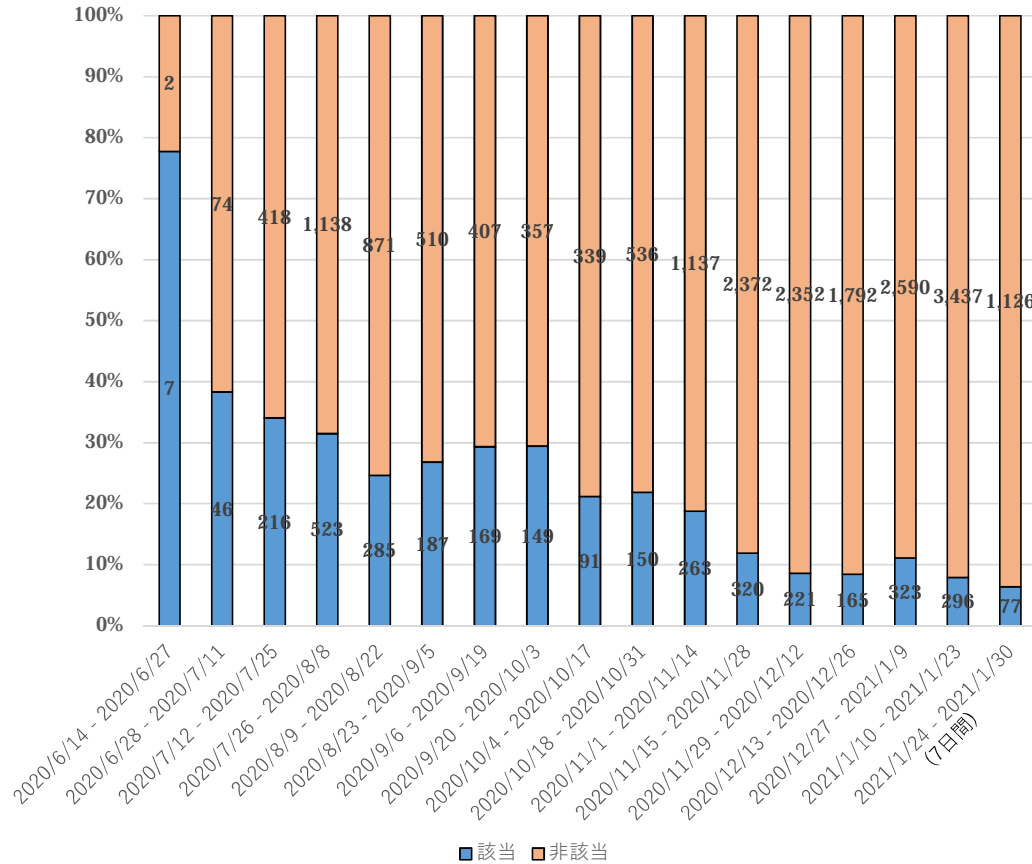
※カッコ書きは、14日間の推定値

夜の街の関係者及び滞在者の割合・人数は、緊急事態宣言発出後、減少に転じている。

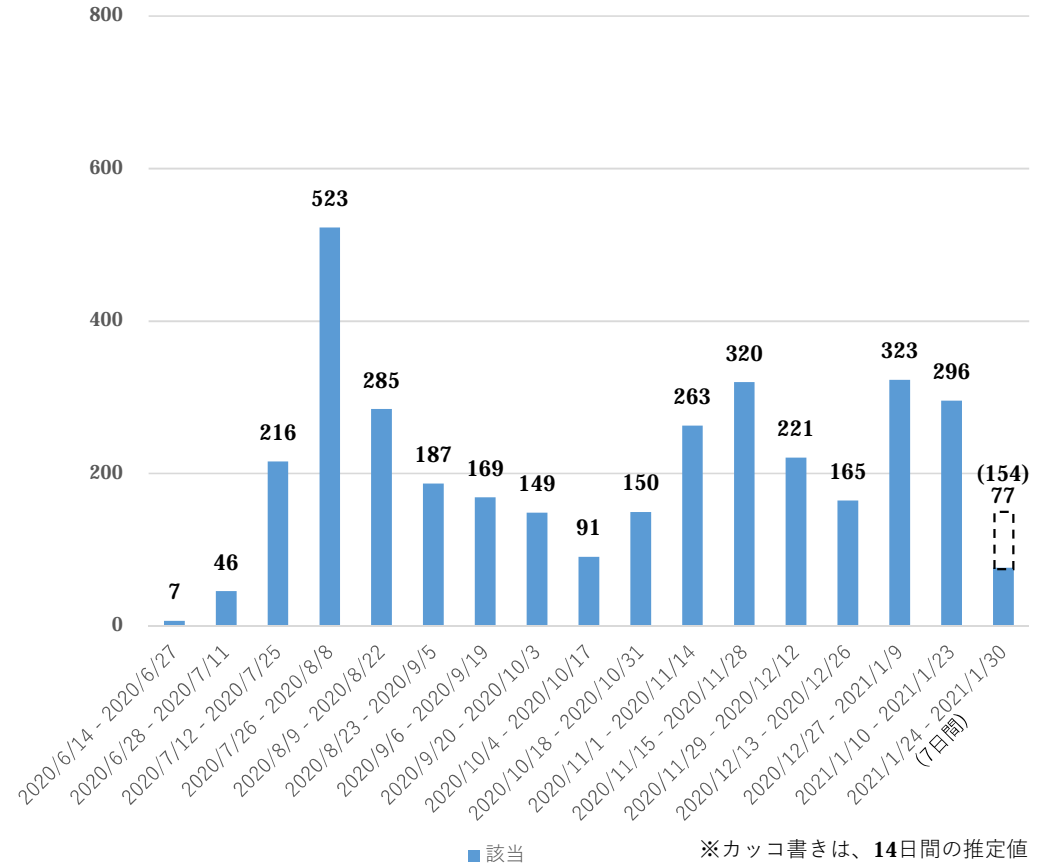
# 夜の街の関係者及び滞在者の状況（感染経路不明者における該当者）

（6月14日以降1月30日までに判明した感染経路不明者**22,946**事例の状況）

夜の街の関係者及び滞在者の状況（感染経路不明：割合）



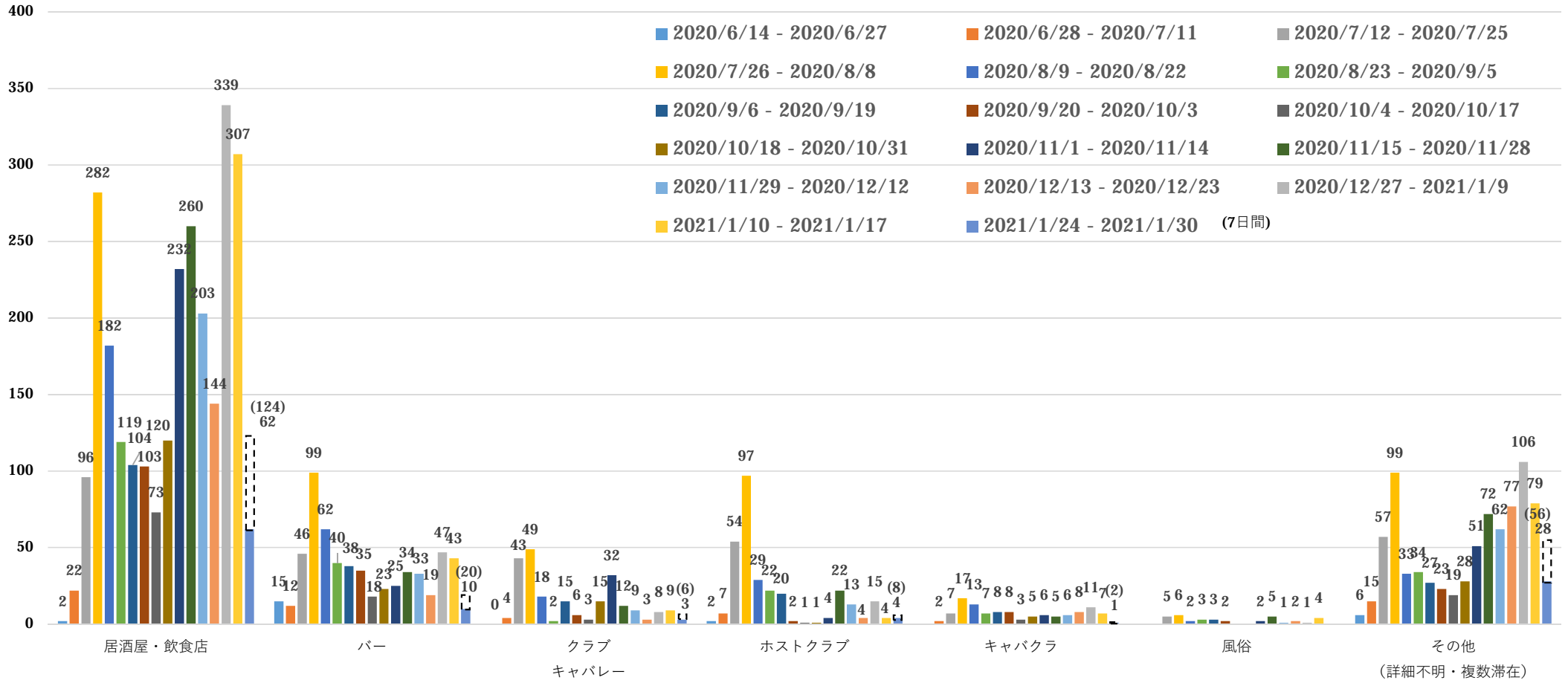
夜の街の関係者及び滞在者の状況（感染経路不明：実数）



※カッコ書きは、14日間の推定値

# 夜の街の滞在分類別の状況

(6月14日以降1月30日までに判明した4,747事例の状況)

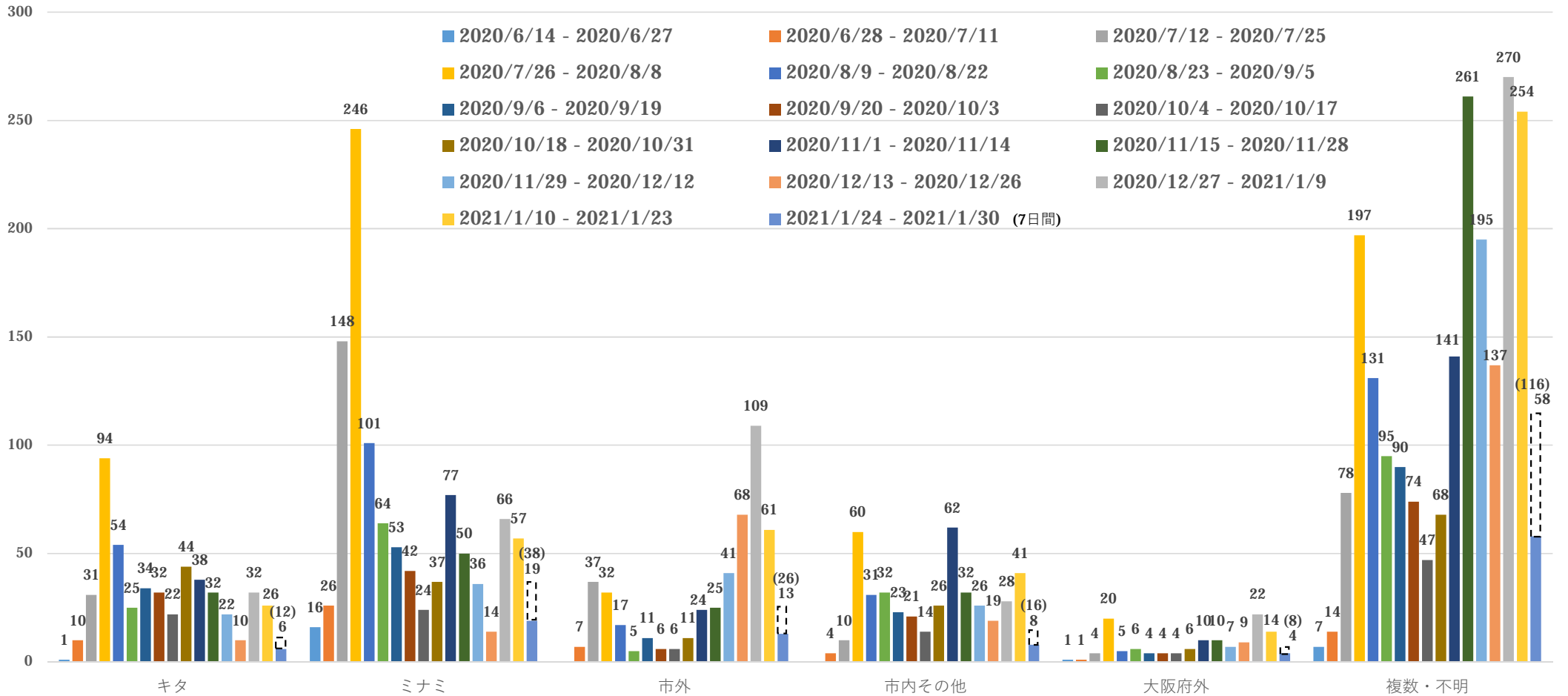


居酒屋・飲食店及びバーは、緊急事態宣言発出後、減少に転じている。

※カッコ書きは、14日間の推定値

# 夜の街の滞在エリア別の状況

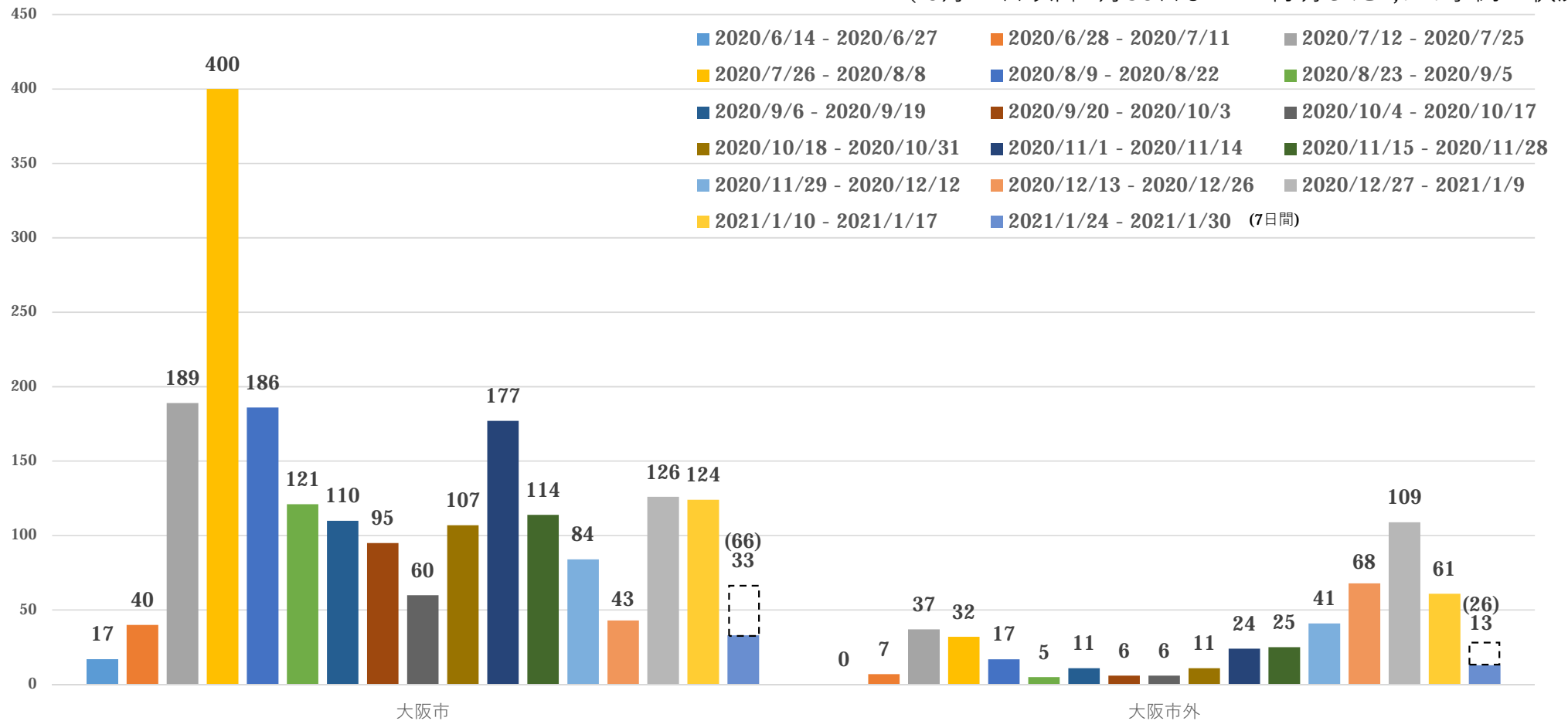
(6月14日以降1月30日までに判明した4,747事例の状況)



※カッコ書きは、14日間の推定値 21

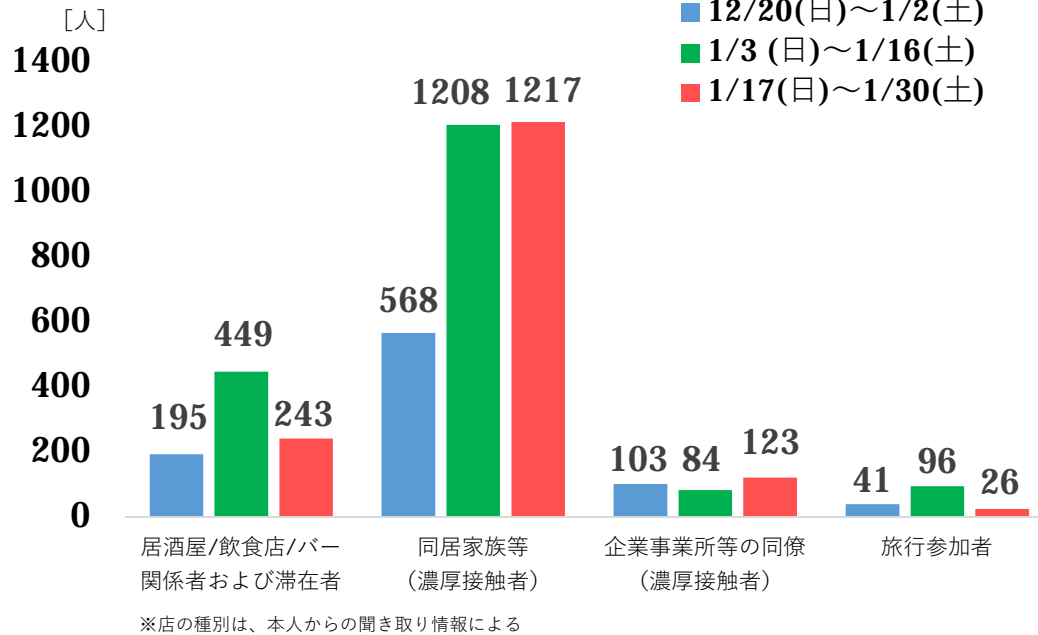
# 夜の街の滞在エリア別の状況

(6月14日以降1月30日までに判明した4,747事例の状況)



# 状況別の陽性者、感染の可能性があるエピソード

## ● 状況別の陽性者



【全陽性者に占める割合】

状況	12/20-1/2	1/3-1/16	1/17-1/30
居酒屋/飲食店/バー関係者および滞在者	5.2%	6.3%	4.1%
同居家族等(濃厚接触者)	15.2%	17.0%	20.7%
企業事業所等の同僚(濃厚接触者)	2.8%	1.2%	2.1%
旅行参加者	1.1%	1.3%	0.4%

※全陽性者数：12/20-1/2 3,732名 1/3-1/16 7,112名 1/17-1/30 5,877名

**新規陽性者に占める同居家族の割合が増加。**

## ● 1月10日以降に、確認された感染の可能性があるエピソード

特徴	感染が推定されるエピソード	確認された延べ人数
普段接していない者同士の集まり	同窓会等、友人同士の集まり(会食・カラオケ等)	35人 ※成人式に関連した会食クラスターが3件発生
	複数の家族が集う親族の集まり(同居家族を除く)	126人
年中行事	忘年会・カウントダウン 新年会・初詣・成人式	39人
年末年始に開催が増えるイベント	パーティ	5人
	カラオケ	58人 ※オールナイト等、長時間に及ぶものが多い
	飲み会・会食・宅飲み	140人

※1/10~1/30に発表された新規陽性者9,589人の行動歴より集計

**延べ403人**

**1月10日以降も、引き続き、年末年始におけるイベントに関連するエピソードが確認された。**



# クラスターの発生状況

第一波のクラスターの発生状況  
(1月29日以降6月13日まで)

	発表名称	件数	陽性者数	陽性者数 /件数
1	ライブ参加者	4 施設	48	12.0
2	大学の関係者	1 大学	8	8.0
3	医療機関関連	6 機関	284	47.3
計			340	

第二波のクラスターの発生状況  
(6月14日以降10月9日まで)

	発表名称	件数	陽性者数	陽性者数 /件数
1	飲食店関連	5 店	45	9.0
2	大学・学校関連	3 校	48	16.0
3	医療機関関連	10機関	295	29.5
4	高齢者施設・障がい者施設関連	23施設	389	16.9
5	その他	4件	63	15.8
計			840	

第三波のクラスターの発生状況  
(10月10日以降1月31日まで)

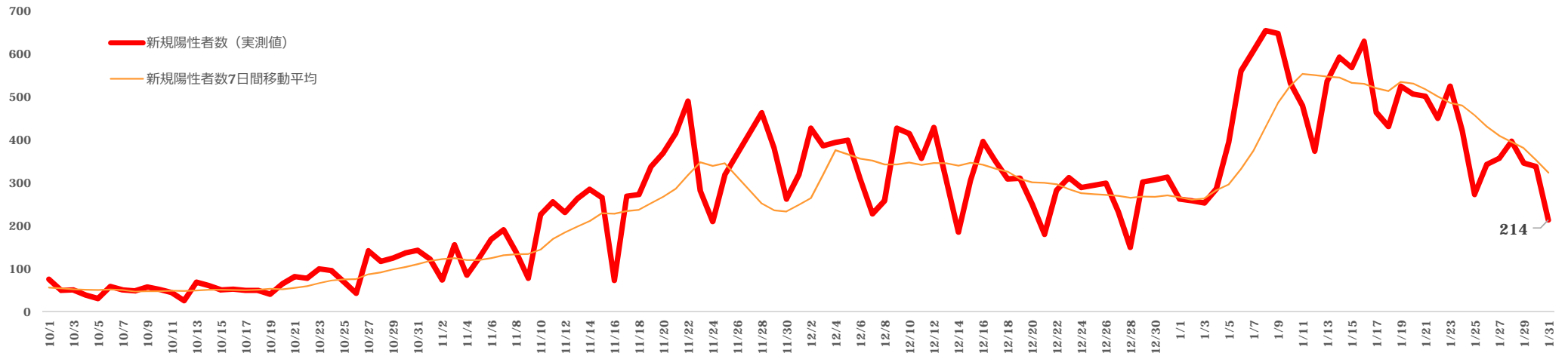
	発表名称	件数	陽性者数	陽性者数 /件数	(参考) 12/2まで
1	飲食店関連	8店	82	10.3	— (0件)
2	大学・学校関連	26校	403	15.5	14.2(128/9)
3	医療機関関連	53機関	1,782	33.6	25.8(412/16)
4	高齢者施設・障がい者施設関連	119施設	2,139	18.0	16.0(480/30)
5	その他	45件	476	10.6	10.4(104/10)
計			4,882		

クラスターにおける陽性者数の割合

	第一波	第二波	第三波
クラスターにおける陽性者数	340	840	4,882
全陽性者数	1,786	9,271	32,665
割合	19.0%	9.1%	14.9%

# 新規陽性者数と入院・療養者数（1月31日時点）

資料1 - 2

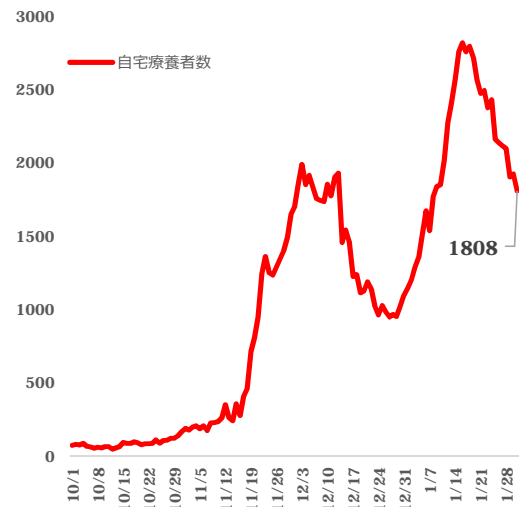
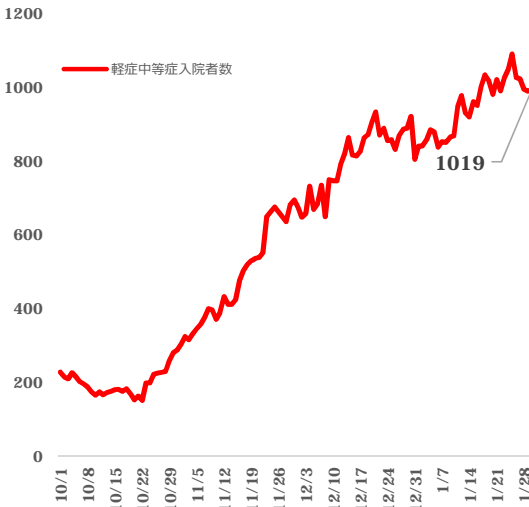
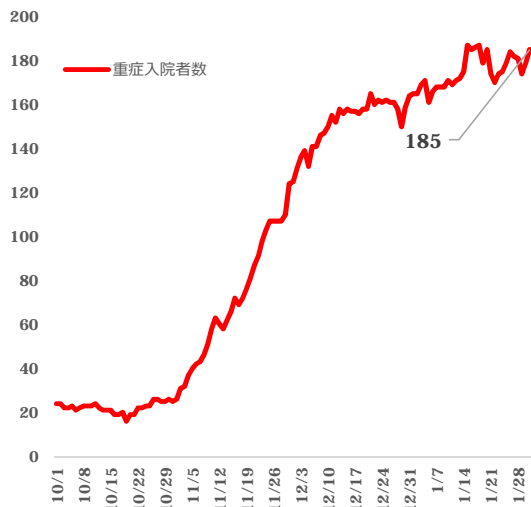


入院患者（重症）

入院患者（軽症中等症）

宿泊療養者

自宅療養者



# 入院・療養状況(1月31日時点)

		重症病床	軽症中等症病床	宿泊療養施設
確保計画	フェーズ1	60床	500床	400室
	フェーズ2	80床	800床	800室
	フェーズ3	150床	1,000床	1,036室
	フェーズ4	215床	1,400床	—
確保数等 ※重症病床、軽症中等症病床について、 11月19日からフェーズ4へ移行		確保数236床	確保数1,565床	2,416室
入院・療養者数 (別途、自宅療養 1,808人)		185人	1,019人	787人
(使用率：入院・療養者数 ／確保病床・室数)		78.4% (185 / 236)	65.1% (1,019 / 1,565)	32.6% (787 / 2,416)
(運用率：入院・療養者数 ／実運用病床・室数)		<b>83.0%</b> <b>(185 / 223)</b> うち、大阪コロナ重症センター (18 / 28)	<b>76.0%</b> <b>(1,019 / 1,341)</b>	<b>32.6%</b> <b>(787 / 2,416)</b>

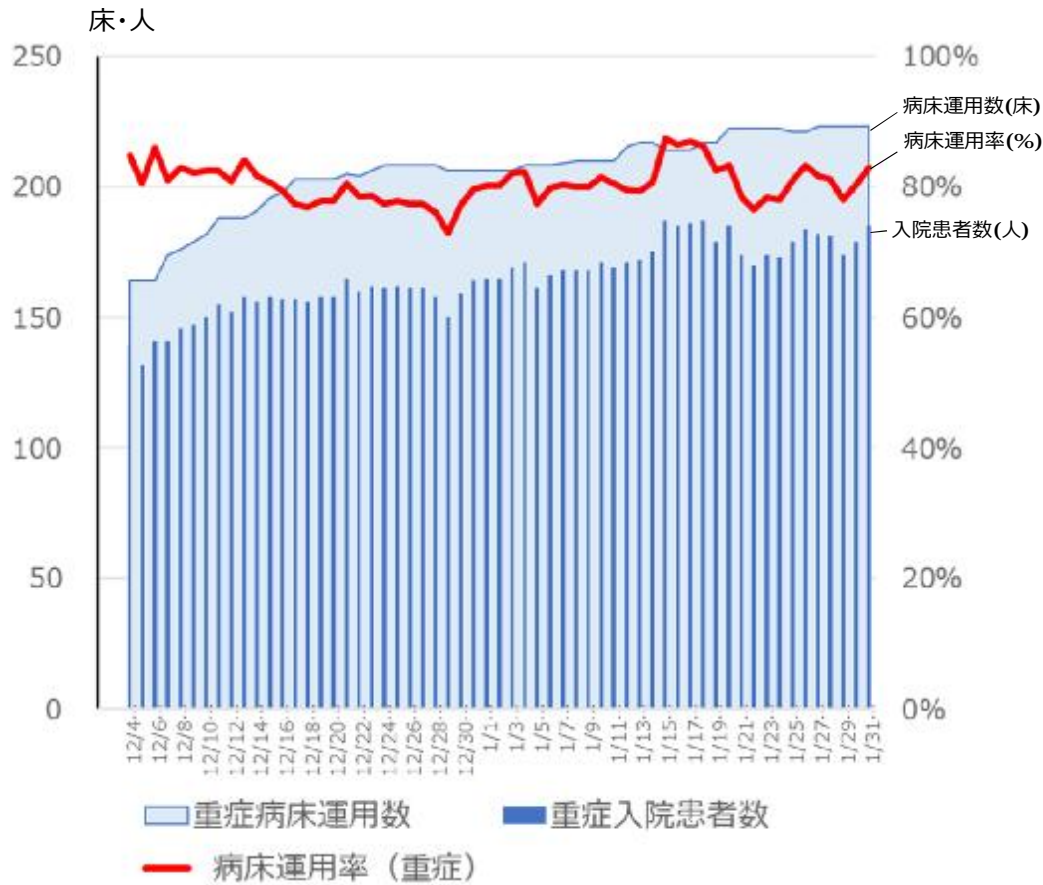
# 新型コロナウイルス感染症患者受入病床の確保・運用状況

## ● 重症病床運用状況(令和2年12月4日以降)

1月31日現在 **病床運用率83%**

運用病床数 **223床** (12/4時点: 164床)

入院患者数 **185人**

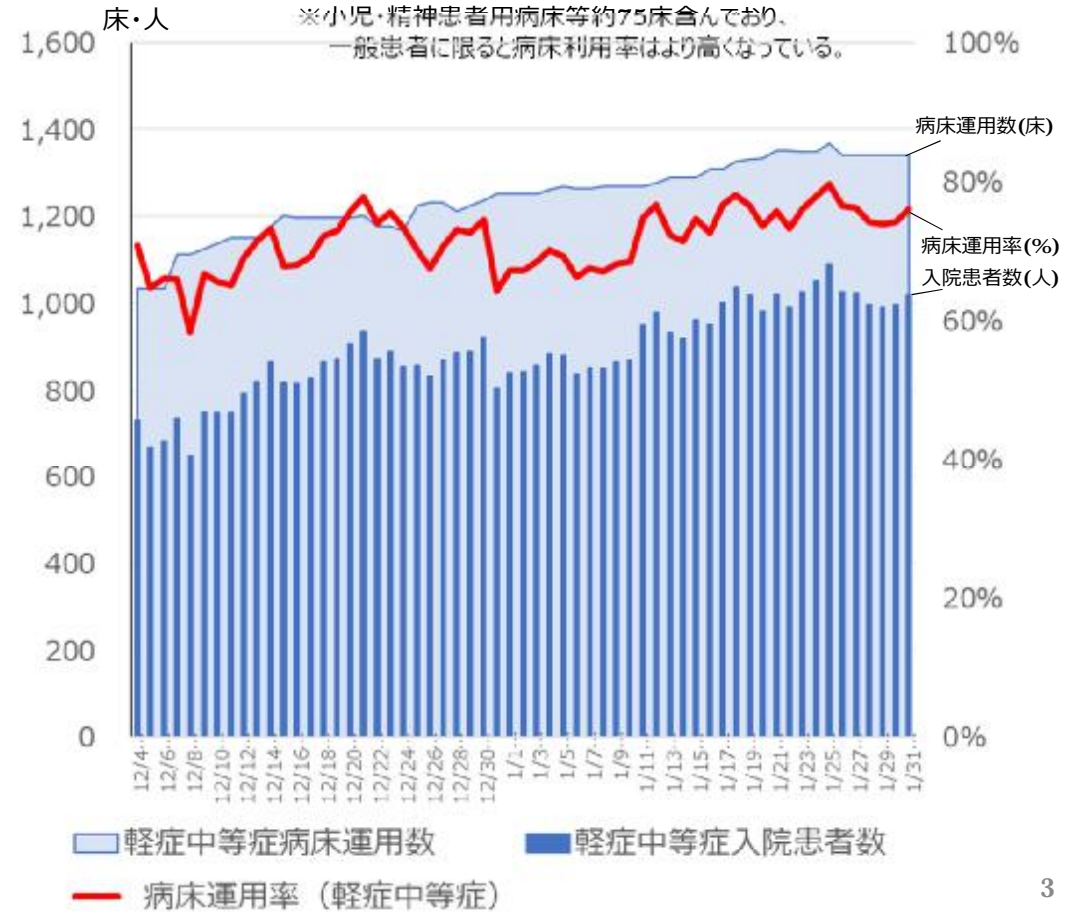


## ● 軽症中等症病床運用状況(令和2年12月4日以降)

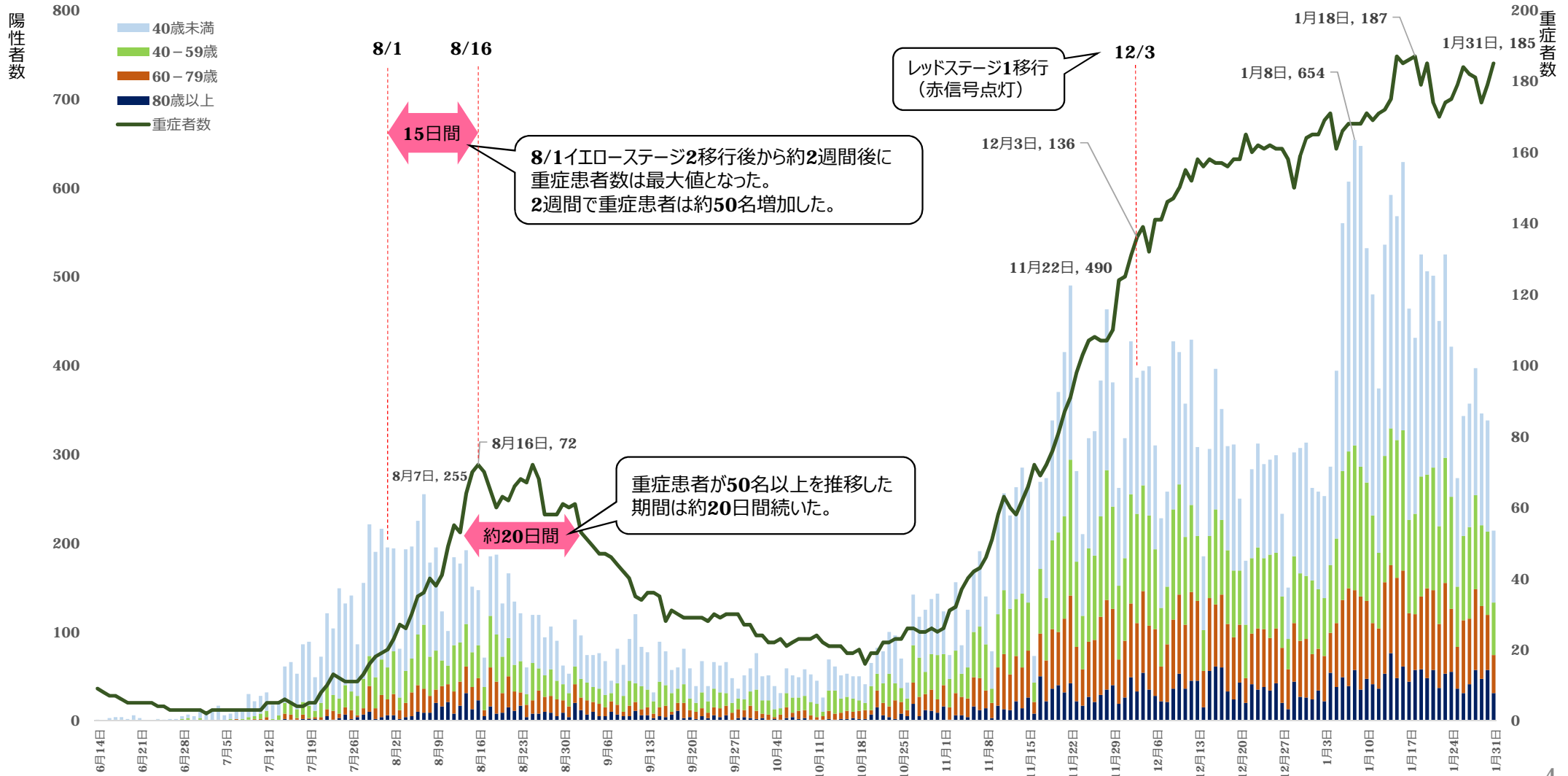
1月31日現在 **病床運用率76%**

運用病床数 **1,341床**※ (12/4時点: 1,034床)

入院患者数 **1,019人**



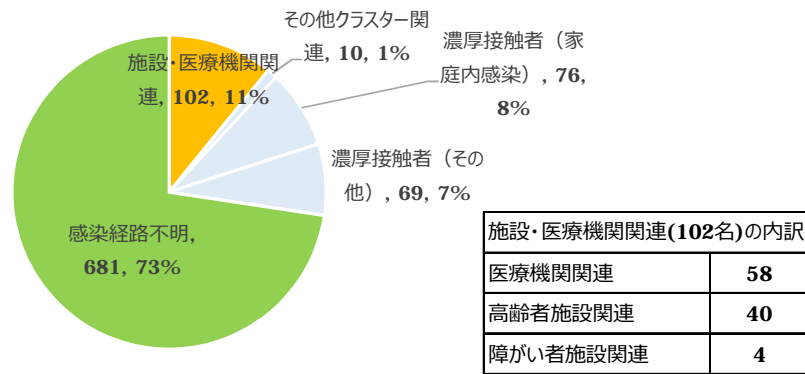
# 陽性者の年齢区分と重症者数の推移



# 【10/10以降】重症・死亡例について推定される感染経路（1/27判明時点）

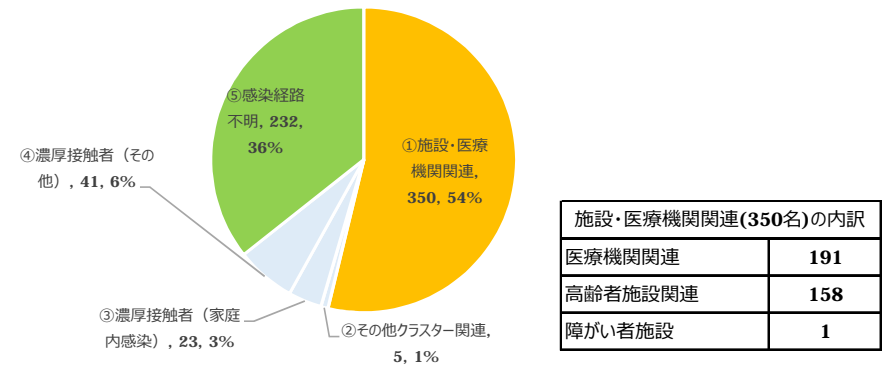
10月10日以降の重症例938名について、推定される感染経路の7割強は感染経路不明者。  
 死亡例651名について、推定される感染経路の5割強が施設・医療機関関連で、4割弱が感染経路不明者。

重症例（N=938）について推定される感染経路



死亡例（N=651）について推定される感染経路

※重症例938例のうち、149例は死亡のため重複あり



年代	重症例総数	感染経路内訳					感染者総数	重症化率
		施設・医療機関関連	その他クラスター関連	濃厚接触者（家庭内感染）	濃厚接触者（その他）	感染経路不明		
未就学児	1			1			585	0.17%
20代	2	1				1	6,362	0.03%
30代	12			1		11	4,082	0.29%
40代	37	2		1	3	31	4,226	0.88%
50代	121	5	2	6	11	97	4,357	2.78%
60代	204	10		19	13	162	2,928	6.97%
70代	364	40	6	36	25	257	3,108	11.71%
80代	179	31	2	12	15	119	2,309	7.75%
90代	18	13			2	3	750	2.40%
計	938	102	10	76	69	681		

年代	死亡例総数	感染経路内訳					感染者総数	死亡率
		施設・医療機関関連	その他クラスター関連	濃厚接触者（家庭内感染）	濃厚接触者（その他）	感染経路不明		
30代	1					1	4082	0.02%
40代	2				1	1	4,226	0.05%
50代	11	4			1	6	4,357	0.25%
60代	38	10	1	2	3	22	2,928	1.30%
70代	162	72	2	10	7	71	3,108	5.21%
80代	286	154	2	10	15	105	2,309	12.39%
90代	142	102		1	13	26	750	18.93%
100代	9	8			1		29	31.03%
計	651	350	5	23	41	232		

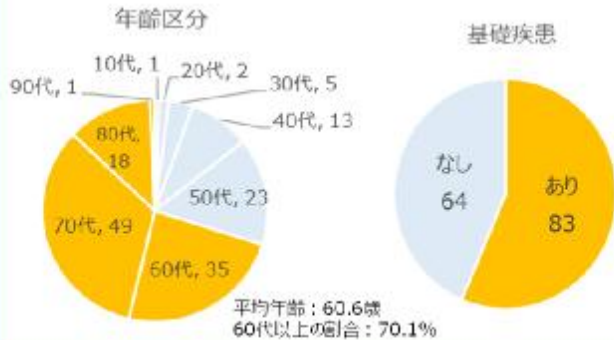
# 重症者のまとめ（令和3年1月27日時点）

※令和2年1月29日から6月13日を「第一波」、6月14日から10月9日を「第二波」、10月10日以降を「第三波」と総称して分析

## 第一波（6/13まで）

新規陽性者数	1,786
(再掲)40代以上(割合)	1,054(59.0%)
(再掲)60代以上(割合)	489(27.4%)
重症者数	147
死亡	47
退院・解除	100
入院中（軽症）	0
入院中（重症）	0

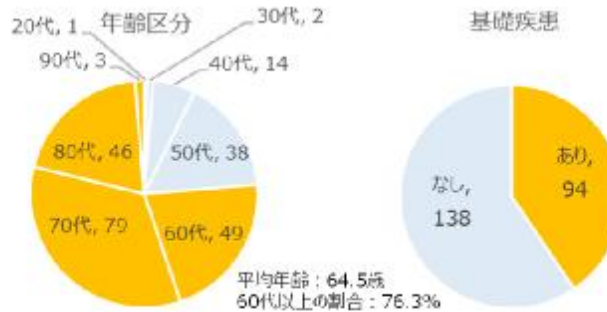
40代以上の陽性者に占める重症者の割合：13.2%(139/1,054)  
 60代以上の陽性者に占める重症者の割合：21.1%(103/489)  
 全陽性者数に占める重症者の割合：8.2%(147/1,786)



## 第二波（6/14～10/9）

新規陽性者数	9,271
(再掲)40代以上(割合)	4,012(43.3%)
(再掲)60代以上(割合)	1,805(19.5%)
重症者数（※）	232
死亡	39
退院・解除	193
入院中（軽症）	0
入院中（重症）	0

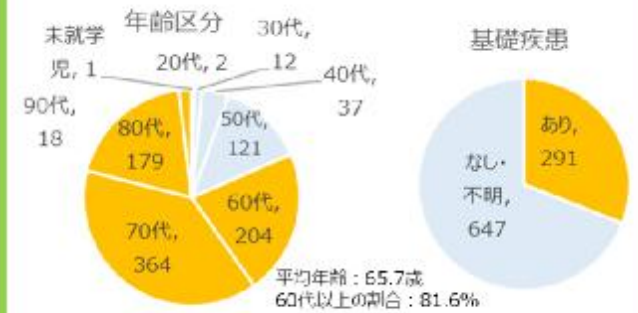
※軽症化後の情報把握のため報道提供していない事例が7例あり  
 40代以上の陽性者に占める重症者の割合：5.7%(229/4,012)  
 60代以上の陽性者に占める重症者の割合：9.8%(177/1,805)  
 全陽性者数に占める重症者の割合：2.5%(232/9,271)



## 第三波（10/10以降）

新規陽性者数	31,370
(再掲)40代以上(割合)	17,707(56.4%)
(再掲)60代以上(割合)	9,124(29.1%)
重症者数（※）	938
死亡	149
退院・解除	261
入院中（軽症）	346
入院中（重症）	182

※軽症化後の情報把握のため報道提供していない事例が3例あり  
 40代以上の陽性者に占める重症者の割合：5.2%(923/17,707)  
 60代以上の陽性者に占める重症者の割合：8.4%(765/9,124)  
 全陽性者数に占める重症者の割合：3.0%(938/31,370)



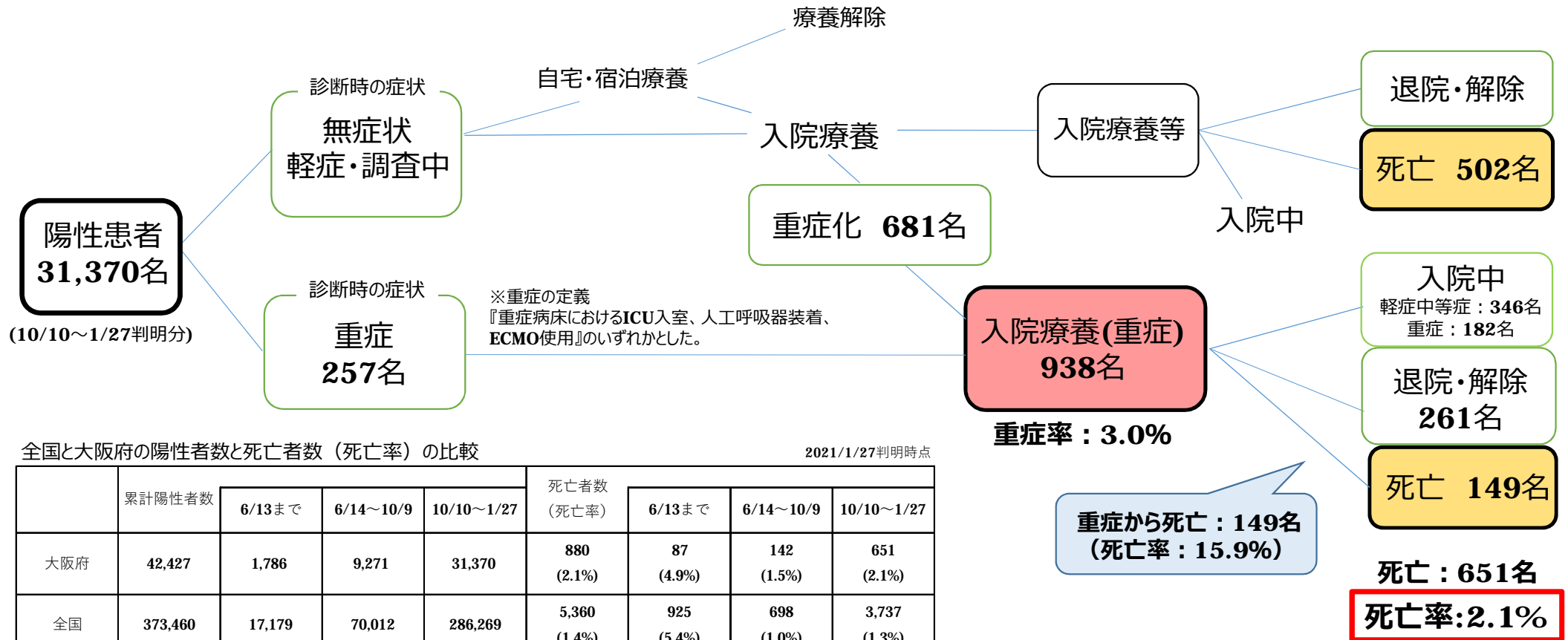
重症の定義：「重症病床におけるICU入室、挿管、人工呼吸器装着、ECMO使用」のいずれかとした。

基礎疾患：相談・受診の目安で示されている重症化リスクの高い患者（糖尿病、心不全、呼吸器疾患（COPD等）、透析患者、免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている患者）

第三波は第二波に比べ、40代以上、60代以上いずれも重症化率は減少しているが、全陽性者に占める重症化率は第二波より高い。

# 【10/10以降】重症及び死亡事例のまとめ（令和3年1月27日時点）

## 重症及び死亡例の経過



全国と大阪府の陽性者数と死亡者数（死亡率）の比較

2021/1/27判明時点

	累計陽性者数	陽性者数			死亡者数 (死亡率)		
		6/13まで	6/14～10/9	10/10～1/27	6/13まで	6/14～10/9	10/10～1/27
大阪府	42,427	1,786	9,271	31,370	880 (2.1%)	87 (4.9%)	651 (2.1%)
全国	373,460	17,179	70,012	286,269	5,360 (1.4%)	925 (5.4%)	3,737 (1.3%)

※チャーター機帰国者、クルーズ船乗客、空港検疫は含まれていない

※全国は厚生労働省公表資料（各自治体公表資料集計分）より集計。

第三波の死亡率は第二波を上回り、全国よりも高い。



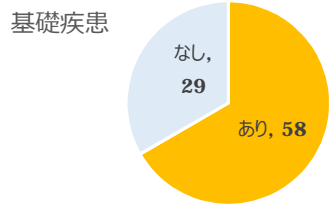
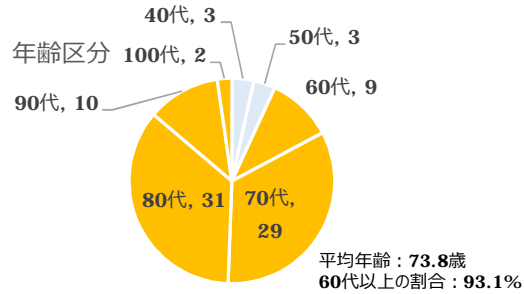
# 死亡者のまとめ（令和3年1月27日時点）

※令和2年1月29日から6月13日を「第一波」、6月14日から10月9日を「第二波」、10月10日以降を「第三波」と総称して分析

## 第一波（6/13まで）

新規陽性者数	1,786
(再掲)40代以上(割合)	1,054(59.0%)
(再掲)60代以上(割合)	489(27.4%)
死亡者数	87

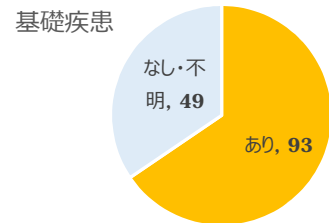
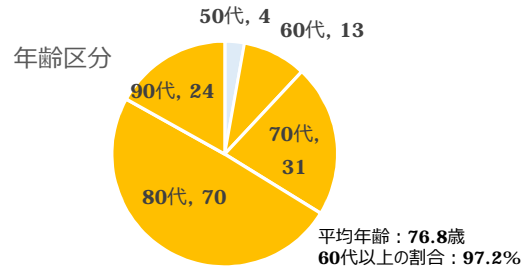
40代以上の陽性者に占める死亡者の割合：8.3%(87/1,054)  
 60代以上の陽性者に占める死亡者の割合：16.6%(81/489)  
 全陽性者数に占める死亡者の割合：4.9%(87/1,786)



## 第二波（6/14～10/9）

新規陽性者数	9,271
(再掲)40代以上(割合)	4,012(43.3%)
(再掲)60代以上(割合)	1,805(19.5%)
死亡者数	142

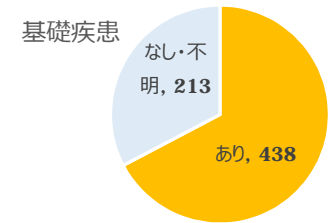
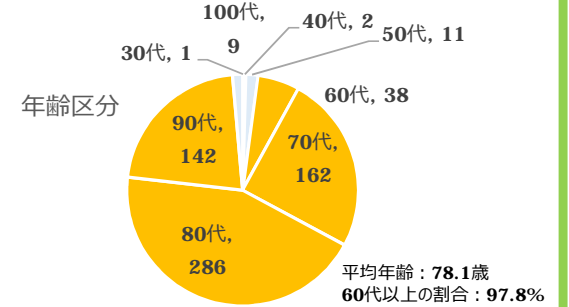
40代以上の陽性者に占める死亡者の割合：3.5%(142/4,012)  
 60代以上の陽性者に占める死亡者の割合：7.6%(138/1,805)  
 全陽性者数に占める死亡者の割合：1.5%(142/9,271)



## 第三波（10/10以降）

新規陽性者数	31,370
(再掲)40代以上(割合)	17,707(56.4%)
(再掲)60代以上(割合)	9,124(29.1%)
死亡者数	651

40代以上の陽性者に占める死亡者の割合：3.7%(650/17,707)  
 60代以上の陽性者に占める死亡者の割合：7.0%(637/9,124)  
 全陽性者数に占める死亡者の割合：2.1%(651/31,370)

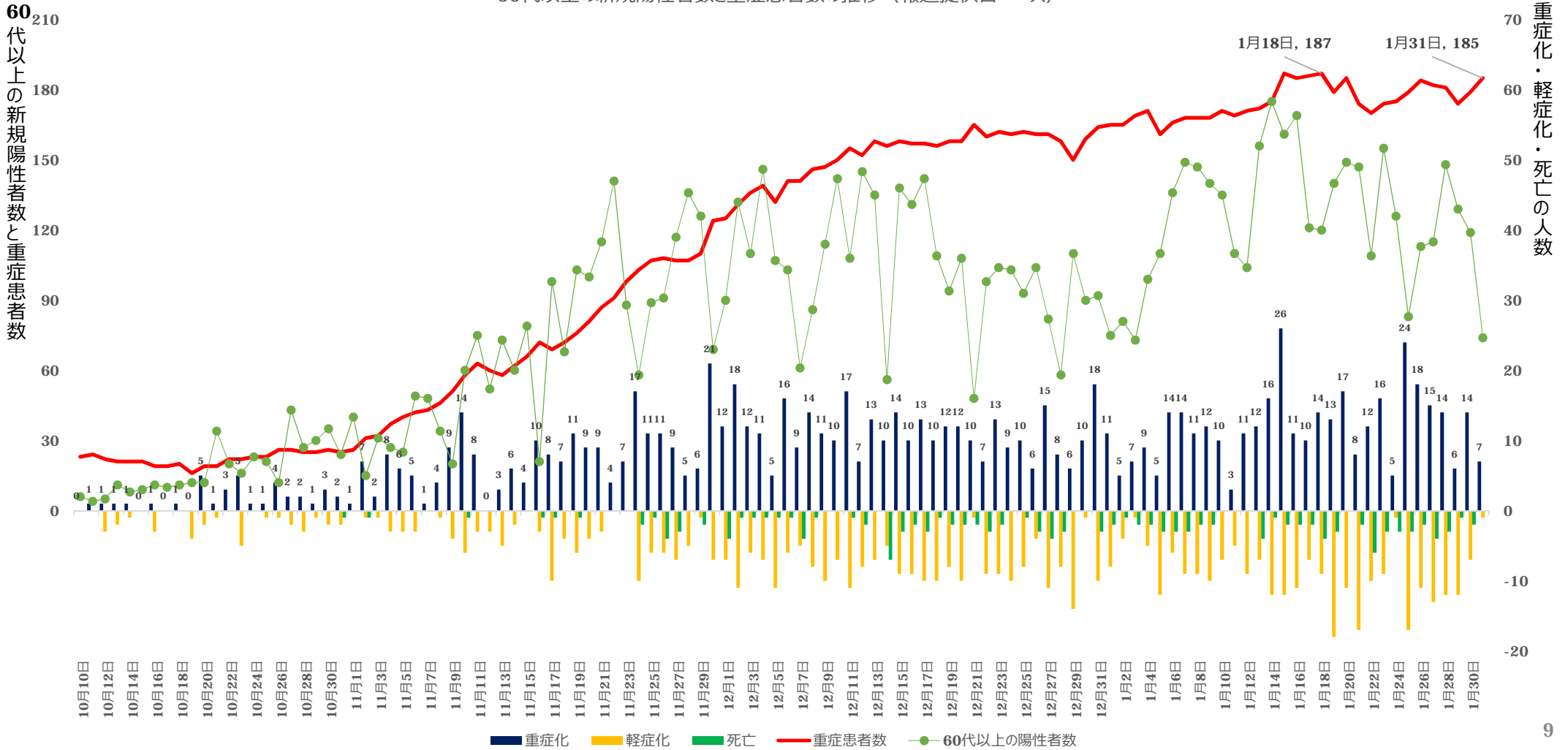


基礎疾患：相談・受診の目安で示されている重症化リスクの高い患者（糖尿病、心不全、呼吸器疾患（COPD等）、透析患者、免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている患者）

第三波の死亡率は第二波を上回っている。

# 新規陽性者数の推移と患者発生シミュレーション 重症患者数の推移

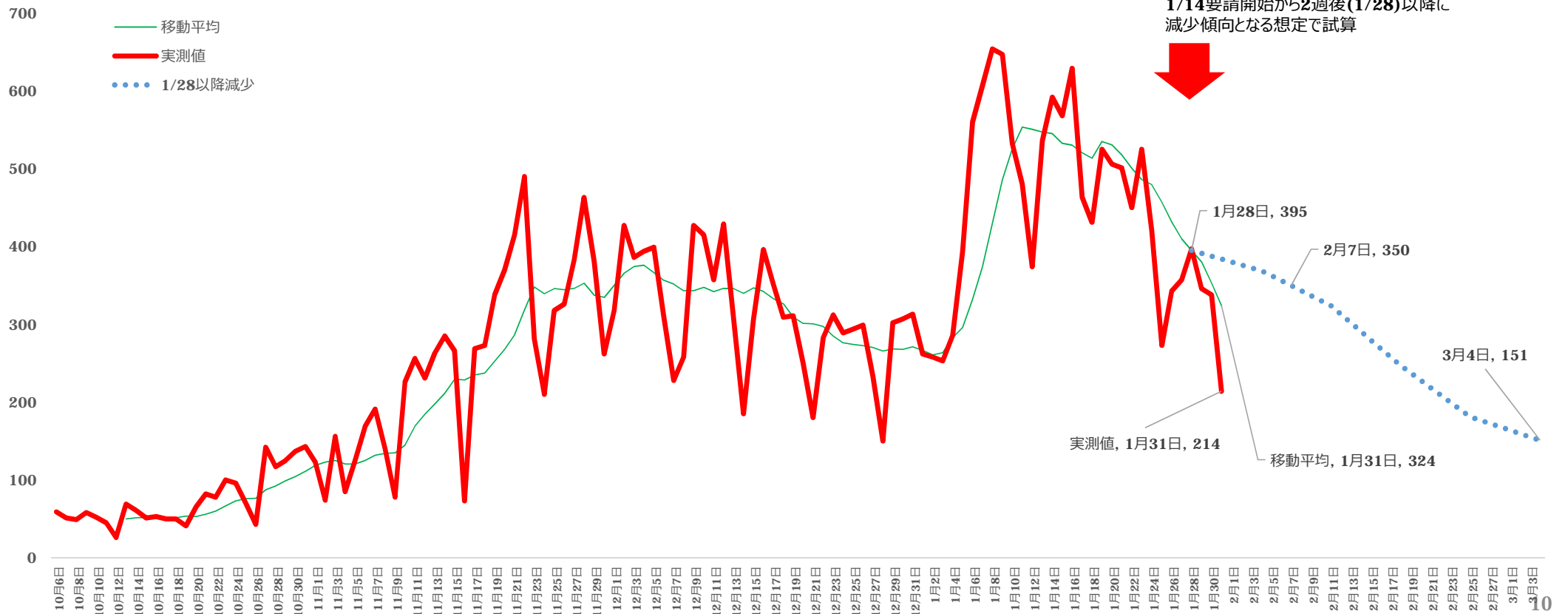
60代以上の新規陽性者数と重症患者数の推移（報道提供日ベース）



# 新規陽性者数の推移と患者発生シミュレーション

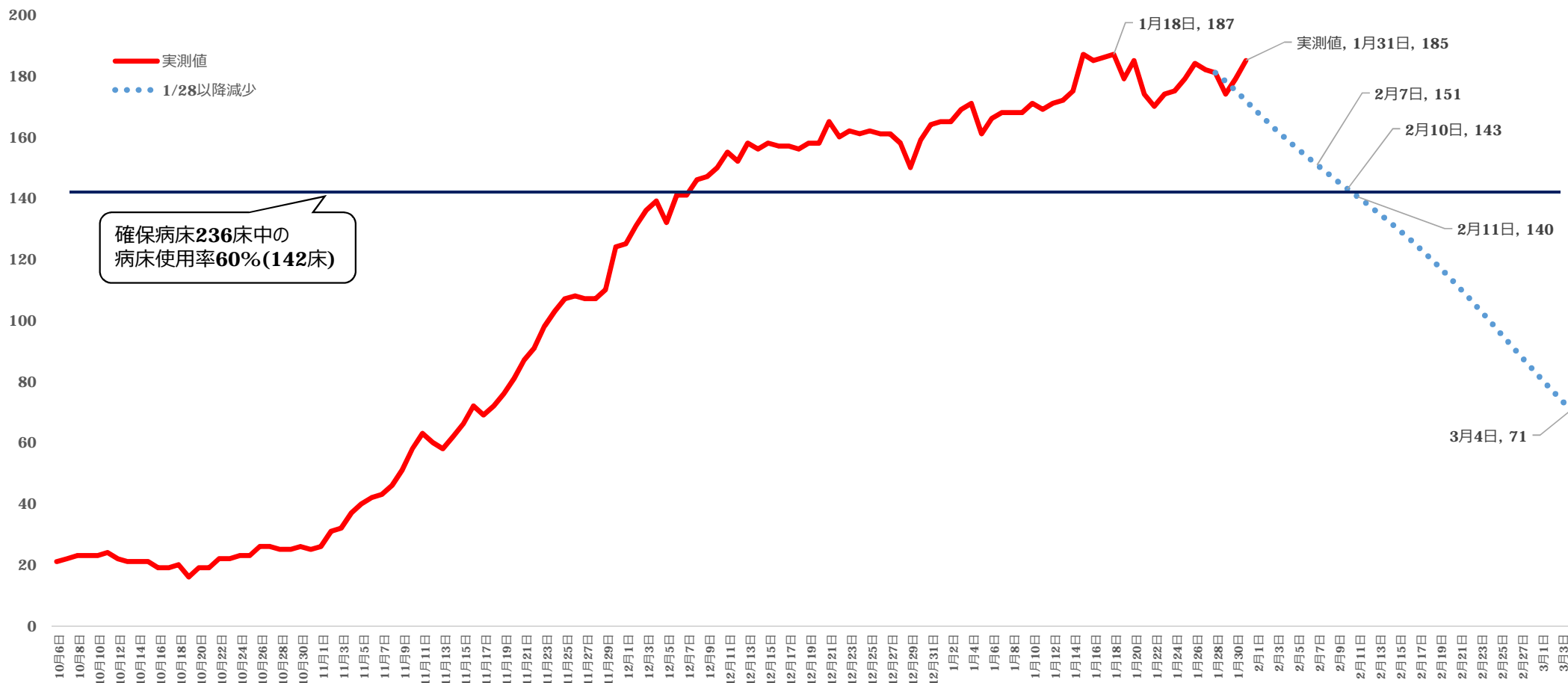
■ 1月28日（1月14日要請開始から2週間後）以降、395名（1月28日時点の新規陽性者数の直近7日間平均）を起点に第二波（8/7以降）と同じ減少率（前週比）で減少するという想定で試算したシミュレーションを実施。

## 患者発生シミュレーション



# 療養者数のシミュレーション

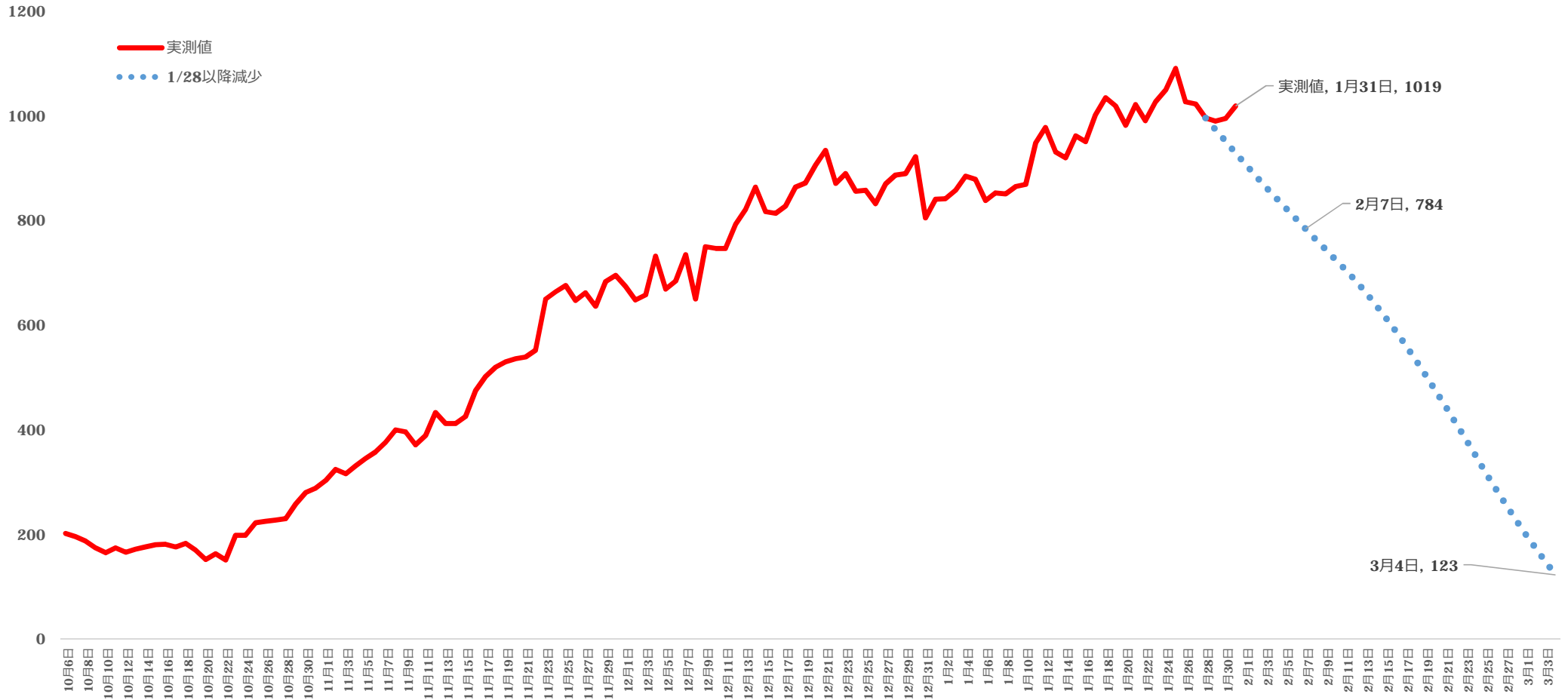
## 入院患者数（重症）シミュレーション



※実運用病床については、日々受入れ病院と調整し、病床を確保。令和2年12月15日以降は「大阪コロナ重症センター」が運用開始。

# 療養者数のシミュレーション

## 入院患者数（軽症中等症）シミュレーション



※実運用病床については、日々受入れ病院と調整し、病床を確保

## <新規陽性者の発生動向>

### (1) 大阪府の発生動向

- 1月14日以降の緊急事態措置（府全域での時短要請や府民の外出自粛要請）により新規陽性者数は大きく減少し、直近1週間では前週比0.68倍まで減少。  
直近1週間の人口10万人あたり新規陽性者数も24.65人(2/1)と大きく減少し、国の分科会指標のステージⅣの基準（25人）を下回った。ただし、ステージⅢの基準（15人）には到達していない。
- 新規陽性者数に占める40代未満の割合は減少している一方、60代以上の割合が増加し、3割を超過。

(参考 これまでの取組み)

- ①11/27～大阪市北区、中央区の接待を伴う飲食店、酒類の提供を行う飲食店(居酒屋等)に対する休業又は営業時間短縮の要請
- ②12/4 ～府民に対するできる限りの不要不急の外出自粛要請
- ③12/16～大阪市内の接待を伴う飲食店、酒類の提供を行う飲食店(居酒屋等)に対する休業又は営業時間短縮の要請  
府民に対する不要不急の外出自粛要請
- ④1/14 ～大阪府全域の飲食店、遊興施設に対する営業時間短縮の要請  
府民に対する不要不急の外出自粛要請

### (2) 市内・市外居住者の発生動向（週・人口10万人あたり）

- 市内・市外ともに直近2週間で大きく減少するも、市内については38.53人とステージⅣの基準（25人）を依然上回っている。

### (3) 夜の街関連等の発生動向

- 新規陽性者に占める夜の街の関係者及び滞在者の割合は、緊急事態宣言発出後、減少に転じ、特に居酒屋・飲食店及びバーで減少。  
滞在エリア別では、市内・市外ともに減少。
- 1月10日以降も依然、親族の集まりや飲み会・会食・宅飲み、あるいは成人式等のイベントによる感染が推定される事例が数多く確認。

# 感染状況と医療提供体制の状況について

## <医療提供体制の状況>

- **重症病床使用率**は、7割を超過している状態であり、**依然ひっ迫**（1/31 78.4%（実運用率83.0%））。  
**軽症中等症使用率**は、1,342床（1/11時点）から1,565床（1/31）まで病床を確保したものの、1,000人を上回る入院患者数により、**依然6割を上回り、ひっ迫**。（1/31 使用率65.1%（実運用率76.0%））。  
**宿泊療養施設**は、新たな施設の確保により使用率は**減少**。（1/31 使用率・実運用率32.6%）
- 1/28日以降、新規陽性者数が1日395名程度で推移し、緊急事態措置の効果が第二波と同じ減少率で表れると仮定した場合、重症者数及び軽症・中等者数は、今後、減少していくと予測される。  
しかし、上記仮定のもとでも、**重症者数が赤信号消灯基準（重症病床使用率が7日間連続60%未満）を満たすのは2月下旬**と見込まれる。

## 今後の対応方針について

- 1月14日からの緊急事態措置の実施により、**新規陽性者数は大きく減少しているが、ステージⅢの基準は依然上回る。重症病床及び軽症・中等症病床使用率も依然、ステージⅣ基準を大きく上回った状態であり、医療提供体制のひっ迫が継続。**
- 第二波では、新規陽性者がピークを迎えてから約2週間後に重症患者数はピークを迎え、その状態が約20日間継続した経験を踏まえると、**第三波の新規陽性者のピーク（1/8,654名）から1か月以上は医療提供体制（特に重症病床）が極めてひっ迫した状況になると考えられる。**  
引き続き、**感染抑制により、医療提供体制のひっ迫を防ぐための取組みの継続が必要。**

## 1. 外出自粛等の呼びかけ(1/28現在)

### ○市町村の取組み(1/14~)

- ▶ 全市町村において、不要不急の外出自粛の呼びかけや飲食店等の見回り活動を実施
- ▶ 29市町村において、消防車・青パト・ゴミ収集車、防災行政無線、SNS、地域FM等による外出自粛の呼びかけ

### ○府・市町村合同の取組み

- ▶ 営業時間短縮要請及び不要不急の外出自粛の呼びかけ
  - ・東大阪市・高槻市(1/15): JR高槻駅・阪急高槻市駅・近鉄布施駅前での外出自粛呼びかけ、時短要請(訪問店舗数316店舗)
  - ・枚方市(1/29): 京阪枚方市駅・樟葉駅前での外出自粛呼びかけ

## 2. 営業時間短縮要請への協力状況(1/28現在)

### ○市町村の取組み(1/14~)

- ▶ 繁華街などの飲食店等の夜間見回り
  - ・全市町村 : 約96%(8,945/9,279店舗)の店舗が協力

### ○大阪府の取組み

- ▶ 飲食店等に対する営業前の聞き取り及び夜間の見回り
  - ・緊急事態宣言後(1/14~) ※ステッカー登録数88,108件(1/26) (うち飲食関係60,528件)



【大阪市北区】天神橋筋



【高槻市】高槻市駅周辺

実施期間	エリア
1/14~	大阪府内全域

時短協力状況			
	エリア	営業前聞き取り	夜間見回り
ステッカー登録店舗を確認(976店舗)	大阪府内全域	100%が協力(112/112店舗)	95%が協力(818/864店舗)
ステッカー登録店舗以外も含め街の外観を確認		—	約900店舗のうち概ね8~9割が協力

### ・緊急事態宣言前(11/27~1/13)

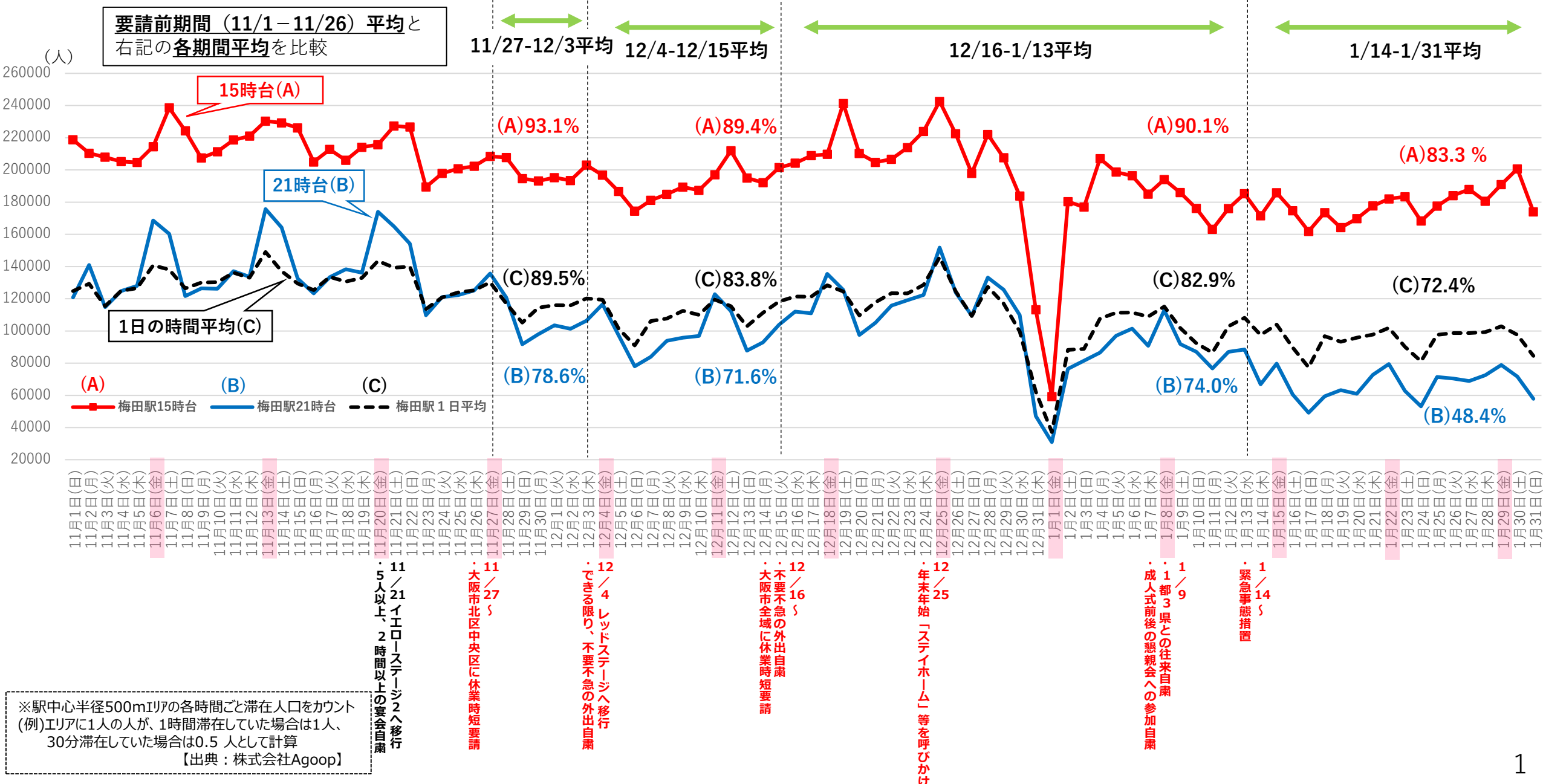
実施期間	エリア
11/27~12/15	大阪市北区・中央区
12/16~ 1/13	大阪市内全域

時短協力状況			
	エリア	営業前聞き取り	夜間見回り
ステッカー登録店舗を確認(3,124店舗)	大阪市内全域	97%が協力(717/738店舗)	89%が協力(2,120/2,386店舗)
ステッカー登録店舗以外も含め街の外観を確認		—	約1,500店舗のうち概ね8~9割が協力

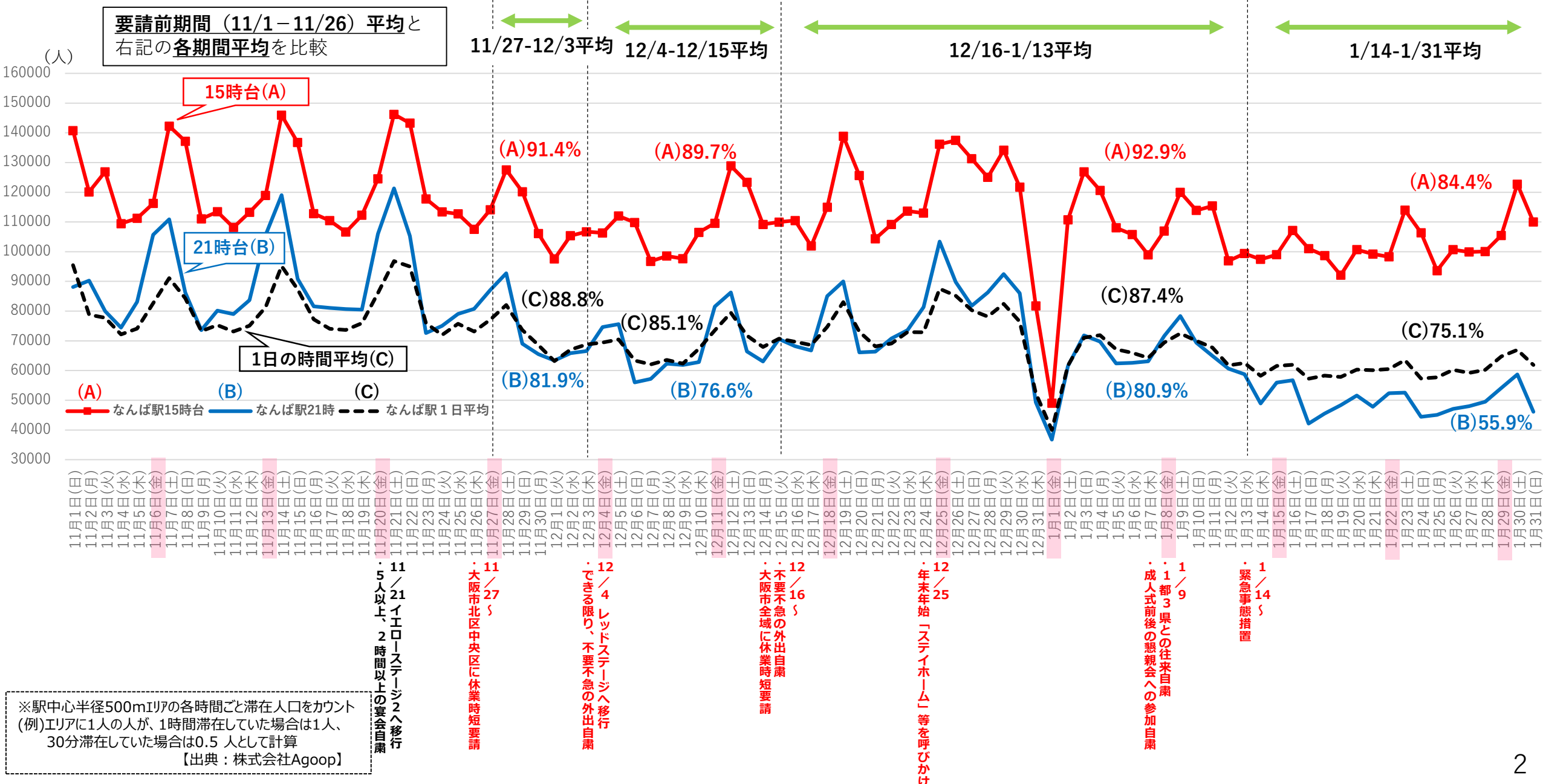


# 【時間帯別】滞在人口の推移（梅田駅15時台・21時台）

資料 1 - 5



# 【時間帯別】滞在人口の推移（なんば駅15時台・21時台）



## 専門家の意見（大阪府新型コロナウイルス対策本部専門家会議 朝野座長）

### ○府の感染状況及び医療提供体制の状況について

検査陽性者数は順調に減少しており、2月7日にはステージⅣの基準である25人/10万人以下を達成するであろう。しかし、療養する患者数の減少は1～2週間遅れるため、病床数の減少には時間がかかる。そのため現在重症病床運用率80%、軽症・中等症病床運用率70%前後で推移しており、医療のひっ迫状態は続いている。ここで、東京都の年始のように患者数が急上昇すれば医療のひっ迫は対応不可能なほど、未だ厳しいものとなる状況である。

### ○緊急事態宣言の延長について

→緊急事態宣言は延長が必要。

<理由>

- ・ 検査陽性者数は順調に減少しており、2月7日までに基準となる移動平均300人/日以下までの減少が達成される可能性がある。
- ・ 療養者数、特に重症者数は陽性者数の減少から1～2週間遅れるため、検査陽性者数の減少の継続が持続し、重症病床を含む病床の使用率が安定して減少するまで継続が望ましい。
- ・ 関西2府1県の全体の状況も考慮する必要がある。京都府は人口10万人あたり陽性者数では大阪府と同等かやや多く、兵庫県の陽性者数は基準を下回ったが、神戸市を中心とする地域の病床のひっ迫が続いており、解除によって再上昇した場合には、両府県とも医療状況のひっ迫が続くことになる。

### ○解除要請の条件

今回の緊急事態宣言発出による最も重要な点は、陽性者数の減少、病床運用率の低下の達成と同時に、緊急事態宣言によって得られた経験や知見が今後どのように活かされるかである。すなわち、次に緊急事態宣言を発出する基準、解除する基準を自治体ごとにより明確に示すことである。

### <2回目の緊急事態宣言でわかったこと>

- ・ COVID-19は、インフルエンザ同様、冬季に患者数が増加する季節性の感染症である。
- ・ 年始以降の感染者数の急増は、20代、30代の若年成人が中心であることから、クリスマスから年末にかけての飲酒、会食を中心とする人との接触機会の増加に起因するものであることが推測される。
- ・ 午後8時までの緩やかな時短と外出の自粛で、検査陽性者数の減少が達成された。
- ・ 推定感染日の患者数の変化から、検査陽性者の減少は緊急事態宣言以前からみられているが、これは年始に東京都を中心とする関東地方で爆発的な感染者数の増加がみら

れたことによるアナウンスメント効果であると考えられる。

- ・ 関西における緊急事態宣言の発出で大阪府の陽性者数の減少傾向もより確実なものとなったと推測される。
- ・ 関東の1都3県に比べ、宣言の発出が1週間遅れた関西で陽性者数の減少が遅れたことから、緊急事態宣言の効果はあったと考える。

#### **<緊急事態宣言の解除の条件>**

分科会のステージⅢの条件を満たし、総合的に判断するというのであれば病床稼働率25%以下となり、到達は難しい。そのため、大阪府としては、検査陽性者数の減少傾向（25名/10万人）が持続的であり、かつ大阪モデルの赤信号解除条件である重症病床使用率60%を安定的に（1週間）下回った場合、とすることで大阪モデルとの整合性がとれ、合理的であると考ええる。

#### **<解除条件の緩和のための努力>**

今回の緊急事態宣言の前後に、いくつかの対策が行われたことも解除の条件となる。まず、病床確保の試みであり、ある一定の条件を満たしている医療機関に軽症、中等症の病床の増床約200床、中等症を診ている病院における使用率85%以上での重症1~2床の診療計画が確認できれば確保病床としてカウントする。また、高齢者施設の職員や入居者専用の検査の実施。このような対策がどのような効果をもたらしたかの評価を行うことで、病床の運用率が低下する方向に作用するため、このような努力も継続して行うことが重要。

府下の飲食店やその関連事業所の経済的なダメージをできるだけ少なくすることにつながるため、医療側の努力も同時に必要である。

経済再生担当、全世代型社会保障改革担当  
内閣府特命担当大臣（経済財政政策）  
西村 康稔 様

一億総活躍担当、まち・ひと・しごと創生担当  
内閣府特命担当大臣（少子化対策、地方創生）  
坂本 哲志 様

新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく  
緊急事態措置の期間内における解除に関する要請等について

京都府、大阪府及び兵庫県においては、1月14日以降、府民・県民への外出自粛要請や、飲食店等への営業時間短縮の要請などの緊急事態措置を実施し、感染防止に努めてまいりました。府民・県民や事業者のご協力により、新規陽性者は減少傾向にあるものの、未だ感染者数は多く、医療提供体制のひっ迫が続いています。

このような状況を踏まえ、緊急事態措置を実施すべき期間の延長はやむを得ないと考えます。

しかしながら、緊急事態の解除に際しては、感染状況の推移を十分に踏まえつつ、対象都府県一律ではなく、地域の実情を把握している知事の意見を受けて期間内における解除について検討されることを要請いたします。

また、期間延長に伴う営業時間短縮要請に応じた事業者への協力の金の財源については、現行制度では2割が地方負担となっており、地方財政を圧迫していることから、地方負担部分について、特段の財政措置を講じられることを要請いたします。

令和3年2月1日

京都府知事 西脇 隆俊  
大阪府知事 吉村 洋文  
兵庫県知事 井戸 敏三

- ① 区域 大阪府全域
- ② 要請期間 レッドステージ2の期間（2月8日から緊急事態措置を実施すべき期間中）  
※ただし、今後、感染状況などを踏まえ、要請期間の短縮も検討
- ③ 実施内容

## ●府民への呼びかけ

### ○ 不要不急の外出・移動※は自粛すること

※ 医療機関への通院、食料・医薬品・生活必需品の買い出し、必要な職場への出勤、屋外での運動や散歩など、生活や健康の維持のために必要なものについては対象外

特に、20時以降の不要不急の外出自粛を徹底すること

（特措法第45条第1項に基づく）

## ●イベントの開催について（府主催（共催）のイベントを含む）

### 【収容人数・収容率等】

○ 【人数上限】 5,000人以下

【収容率】 屋内：50%以下 屋外：人と人との距離を十分に確保（できるだけ2 m）

（特措法第24条第9項に基づく）

○ あわせて、20時以降の時間短縮について協力を依頼

## ●施設について

① 区域 大阪府全域

② 期間 2月8日から緊急事態措置を実施すべき期間中

※ただし、今後、感染状況などを踏まえ、要請期間の短縮も検討

③ 実施内容

### 【特措法第24条第9項に基づく要請】

対象施設	要請内容
<p>【飲食店】 飲食店（居酒屋を含む）、喫茶店等（宅配・テークアウトサービスを除く） 【遊興施設】 バー、カラオケボックス等で、食品衛生法の飲食店営業許可を受けている店舗</p>	<p>営業時間短縮（5時～20時）を要請 ただし、酒類の提供は11時～19時</p>



## 【協力依頼】

対象施設	協力依頼内容
運動施設、遊技場	以下の内容について、協力を依頼 ・ 営業時間短縮（5時～20時） ただし、酒類の提供は11時～19時 ・ 開催するイベントは、人数上限5,000人、かつ、 収容率50%とすること
劇場、観覧場、映画館又は演芸場	
集会場又は公会堂、展示場	
博物館、美術館又は図書館	
ホテル又は旅館（集会の用に供する部分に限る）	
遊興施設※	以下の内容について、協力を依頼 ・ 営業時間短縮（5時～20時） ただし、酒類の提供は11時～19時
物品販売業を営む店舗（1,000㎡超）（生活必需物資を除く）	
サービス業を営む店舗（1,000㎡超）（生活必需サービスを除く）	

※ 遊興施設のうち、食品衛生法の飲食店営業許可を受けている店舗は、特措法に基づく要請の対象。  
 ネットカフェ・マンガ喫茶等、宿泊を目的とした利用が相当程度見込まれる施設は要請・協力依頼の対象外。

## ● 上記要請を踏まえ、各団体等に特にお願いしたいこと

### < 経済界 > へのお願い

- 20時以降の不要不急の外出自粛を徹底することを踏まえ、事業の継続に必要な場合を除き、20時以降の勤務を抑制すること（特措法第24条第9項に基づく）
- 「出勤者数の7割削減」をめざすことも含め、テレワークをより推進すること  
出勤が必要となる職場でも、ローテーション勤務、時差出勤、自転車通勤などの取り組みを推進すること（特措法第24条第9項に基づく）

### < 大学等 > へのお願い

- 感染防止と面接授業・遠隔授業の効果的实施等により学修機会を確保すること（特措法第24条第9項に基づく）
- 部活動、課外活動、学生寮における感染防止策、懇親会や飲み会などについて、学生等に注意喚起を徹底すること  
部活動における感染リスクの高い活動は自粛すること（特措法第24条第9項に基づく）

旧（1月14日～2月7日）	新（2月8日から緊急事態措置を実施すべき期間中）
<p>① 区域 大阪府全域</p> <p>② 要請期間 レッドステージ2の期間(1月14日～2月7日) ※「緊急事態措置を実施すべき区域」に大阪府が追加された場合、それに応じて期間を変更</p> <p>③ 実施内容 (特措法第24条第9項に基づく※) ※「緊急事態措置を実施すべき区域」に大阪府が追加された場合、「不要不急の外出自粛」は法第45条第1項に基づく</p> <p>●府民への呼びかけ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 不要不急の外出・移動※は自粛すること</li> <li>※ 医療機関への通院、食料・医薬品・生活必需品の買い出し、必要な職場への出勤、屋外での運動や散歩など、生活や健康の維持のために必要なものについては対象外</li> </ul> <p>特に、20時以降の不要不急の外出自粛を徹底すること</p>	<p>① (略)</p> <p>② 要請期間 <b>レッドステージ2の期間（2月8日から緊急事態措置を実施すべき期間中）</b> <b>※ただし、今後、感染状況などを踏まえ、要請期間の短縮も検討</b></p> <p>③ 実施内容</p> <p>●府民への呼びかけ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 不要不急の外出・移動※は自粛すること</li> <li>※ 医療機関への通院、食料・医薬品・生活必需品の買い出し、必要な職場への出勤、屋外での運動や散歩など、生活や健康の維持のために必要なものについては対象外</li> </ul> <p>特に、20時以降の不要不急の外出自粛を徹底すること <b><u>（特措法第45条第1項に基づく）</u></b></p>

旧（1月14日～2月7日）	新（2月8日から緊急事態措置を実施すべき期間中）
<p>●イベントの開催について(府主催（共催）のイベントを含む)  <b>【要請期間】</b> 1月17日～2月7日</p> <p><b>【収容人数・収容率等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ <b>【人数上限】</b> 5,000人以下  <b>【収容率】</b> 屋内：50%以下  屋外：人と人との距離を十分に確保（できるだけ2 m）  （特措法第24条第9項に基づく）</li> <li>○ 新年の挨拶回り、新年会・賀詞交歓会、及びこれに類するものは、飲食につながるため、自粛すること</li> <li>○ あわせて、20時以降の時間短縮について協力を依頼</li> </ul>	<p>●イベントの開催について(府主催（共催）のイベントを含む)  <b>【要請期間】</b> （略）</p> <p><b>【収容人数・収容率等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ （略）</li> <li>○ （削除）</li> <li>○ （略）</li> </ul>

旧（1月14日～2月7日）

●施設について

- ① 区域 大阪府全域
- ② 期間 1月14日～2月7日  
※「緊急事態措置を実施すべき区域」に大阪府が追加された場合、それに応じて期間を変更

③ 実施内容

【特措法第24条第9項に基づく要請】

対象施設	要請内容
<p><b>【飲食店】</b> 飲食店（居酒屋を含む）、喫茶店等（宅配・テイクアウトサービスを除く）</p> <p><b>【遊興施設】</b> バー、カラオケボックス等で、食品衛生法の飲食店営業許可を受けている店舗</p>	<p>営業時間短縮（5時～20時）を要請 ただし、酒類の提供は11時～19時</p>

新（2月8日から緊急事態措置を実施すべき期間中）

●施設について

- ① （略）
- ② 期間 **2月8日から緊急事態措置を実施すべき期間中**  
**※ただし、今後、感染状況などを踏まえ、要請期間の短縮も検討**

③ 実施内容

（略）

旧（1月14日～2月7日）

【協力依頼】

対象施設	協力依頼内容
運動施設、遊技場	以下の内容について、協力を依頼 ・営業時間短縮（5時～20時） ただし、酒類の提供は11時～19時 ・開催するイベントは、人数上限5,000人、かつ、 収容率50%とすること（イベントに関する要請は1月17日～）
劇場、観覧場、映画館又は演芸場	
集会場又は公会堂、展示場	
博物館、美術館又は図書館	
ホテル又は旅館（集会の用に供する部分に限る）	
遊興施設※	以下の内容について、協力を依頼 ・営業時間短縮（5時～20時） ただし、酒類の提供は11時～19時
物品販売業を営む店舗（1,000㎡超）（生活必需物資を除く）	
サービス業を営む店舗（1,000㎡超）（生活必需サービスを除く）	

※ 遊興施設のうち、食品衛生法の飲食店営業許可を受けている店舗は、特措法に基づく要請の対象。  
 ネットカフェ・マンガ喫茶等、宿泊を目的とした利用が相当程度見込まれる施設は要請・協力依頼の対象外。

新（2月8日から緊急事態措置を実施すべき期間中）

【協力依頼】

対象施設	協力依頼内容
運動施設、遊技場	以下の内容について、協力を依頼 ・営業時間短縮（5時～20時） ただし、酒類の提供は11時～19時 ・開催するイベントは、人数上限5,000人、かつ、 収容率50%とすること
劇場、観覧場、映画館又は演芸場	
集会場又は公会堂、展示場	
博物館、美術館又は図書館	
ホテル又は旅館（集会の用に供する部分に限る）	
遊興施設※	以下の内容について、協力を依頼 ・営業時間短縮（5時～20時） ただし、酒類の提供は11時～19時
物品販売業を営む店舗（1,000㎡超）（生活必需物資を除く）	
サービス業を営む店舗（1,000㎡超）（生活必需サービスを除く）	

※ （略）

旧（1月14日～2月7日）

新（2月8日から緊急事態措置を実施すべき期間中）

- 上記要請を踏まえ、各団体等に特にお願いしたいこと  
<経済界へのお願い>
- 20時以降の不要不急の外出自粛を徹底することを踏まえ、事業の継続に必要な場合を除き、20時以降の勤務を抑制すること（特措法第24条第9項に基づく）
- 「出勤者数の7割削減」をめざすことも含め、テレワークをより推進すること  
出勤が必要となる職場でも、ローテーション勤務、時差出勤、自転車通勤などの取り組みを推進すること  
（特措法第24条第9項に基づく）
- 新年の挨拶回り、新年会・賀詞交歓会、及びこれに類するものは、飲食につながるため、自粛すること

- 上記要請を踏まえ、各団体等に特にお願いしたいこと  
<経済界へのお願い>
- （略）
- （略）
- （削除）

旧（1月14日～2月7日）

<大学等へのお願い>

- 感染防止と面接授業・遠隔授業の効果的实施等により学修機会を確保すること（特措法第24条第9項に基づく）
- 部活動、課外活動、学生寮における感染防止策、懇親会や飲み会などについて、学生等に注意喚起を徹底すること  
部活動における感染リスクの高い活動は自粛すること  
（特措法第24条第9項に基づく）

新（2月8日から緊急事態措置を実施すべき期間中）

<大学等へのお願い>

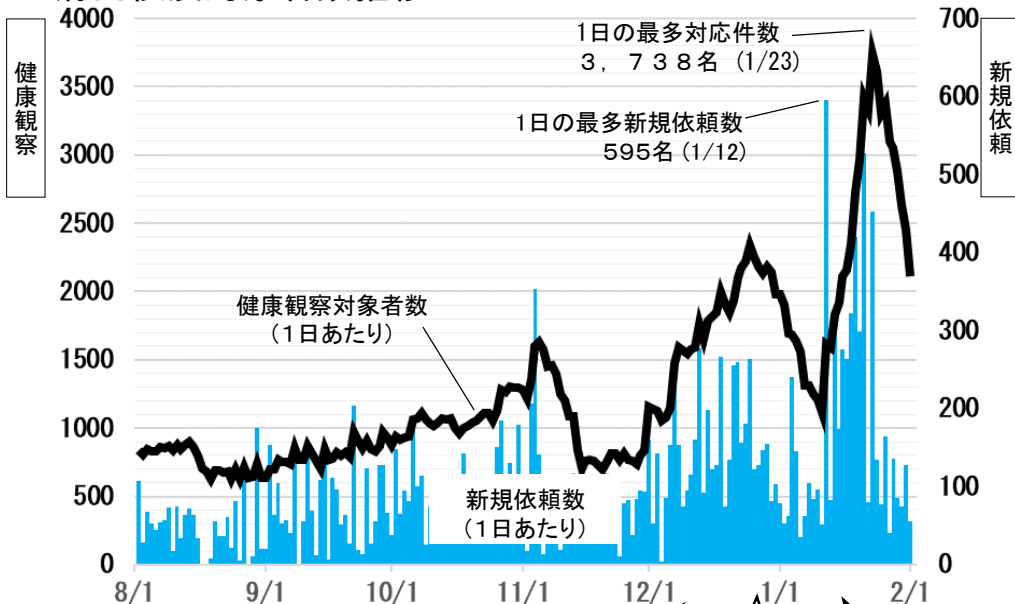
（略）



## 《概要》

- 国内への入（帰）国者のうち、検疫所が実施するPCR検査で陰性が確認された対象者の14日間の健康観察を検疫所から各保健所へ依頼。
- 新型コロナウイルス感染拡大に伴い、ひっ迫する府内保健所業務を支援するため、令和2年8月3日に大阪府庁に検疫フォローアップセンターを設置し、「大阪市保健所」及び「府保健所」管轄地域を対象に業務開始。その後12月から府内全域を対象とした。
- 検疫所からの入（帰）国者情報を大阪府が一元管理し、電話及びLINEを活用して府全域の入国者に対する14日間の健康観察を一元的に実施することにより、有症状者の迅速な探知と保健所への適切な情報提供を通じ感染拡大を未然に防ぐ。

## 府内検疫対象者数推移



6/18~  
一定条件下で特定国からの入国を緩和する措置(BT、RT)の運用開始

■**ビジネストラック(BT)**  
例外的に入国が認められ、入国後14日間の自宅等待機期間中、行動範囲を限定しビジネス活動が可能。主に短期出張者用

■**レジデンストラック(RT)**  
例外的に入国が認められ、入国後14日間の自宅等待機を求める。主に長期滞在者用

10/1  
BT・RTの入国緩和と拡大(留学、家族滞在等を対象)

12/7  
検疫FCの対象を府内全域に拡大

12/28  
新規入国停止(BT・RT除く)

1/14  
BT・RT運用停止(ビザ所持者除く)

1/21  
日本人・在留資格保持者以外の入国を停止(ビザ所持者含む)

## 健康観察対応実績

- 1日あたり対応件数
  - 新規依頼数 : 100~500名 (最大 595名)
  - 健康観察 : 500~3,000名 (最大 3,738名)
- 12月1日以降 : のべ10,000件を超える健康観察

有症状を探知し管轄保健所へ検査依頼した件数 : 23人  
上記のうち、**陽性判明** : 6人  
出発国内訳 アメリカ2、インドネシア2、アラブ首長国連邦1、英国1  
英国1については後に再検査の結果、陰性と判明

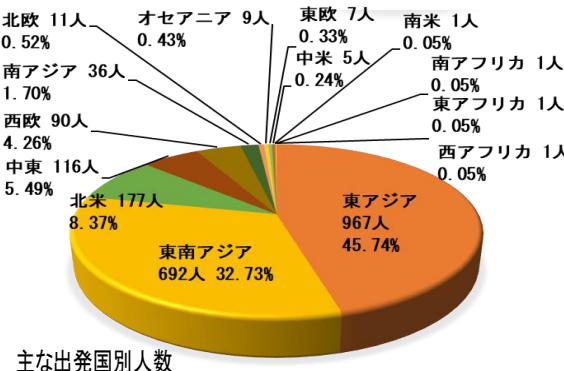
## 対象者地域別内訳

(2021.2.1時点)

### 管轄保健所内訳

保健所名	対象者	率
池田	17	0.80%
茨木	57	2.70%
守口	60	2.84%
四條畷	18	0.85%
藤井寺	23	1.09%
富田林	44	2.08%
和泉	19	0.90%
岸和田	35	1.66%
泉佐野	117	5.53%
大阪市	1,288	60.93%
堺市	29	1.37%
東大阪市	41	1.94%
高槻市	40	1.89%
豊中市	48	2.27%
枚方市	24	1.14%
八尾市	99	4.68%
震屋川市	144	6.81%
吹田市	11	0.52%
府全域計	2,114	100%

### 出発国地域別内訳



### 主な出発国別人数

出発国	対象者	率	出発国	対象者	率
中国	463	21.9%	オランダ	67	3.2%
韓国	447	21.1%	タイ	64	3.0%
ベトナム	412	19.5%	台湾	56	2.6%
シンガポール	138	6.5%	カナダ	41	1.9%
アメリカ合衆国	136	6.4%	その他	178	8.4%
アラブ首長国連邦	112	5.3%			
合計			合計	2,114	100%